

160号

考える主婦の投稿誌

座談会・預かる側の視点
主婦の解放旅行・一人だけの旅立ち
連載・離婚のしかた教えます

特集

子どもを預ける



書きたいひと

考えたいひと 知りたいひと

怒りたいひと

「わいふ」はあなたの雑誌です

あなたの中にあるものを

声にしてみませんか?

あなたは発見するでしょう

同じことを考えているひとが

あそこにも ここにも

いたことを

そして みんなで考えるとき

あなたは もう

一人ぼっちではない

ということを

特集Ⅱ 家族解体にむけて

I 個と家族

共感共鳴家族

私の未来図

「家族」を探る

Ⅱ 対

崩壊家族

三里塚の土に育くまれて 石井紀子

Ⅲ 権力と家族

闘いの桎梏を励ましの武器へ 菊池さよ子

個からの出発

坂見淳

Ⅳ 共同体

迷惑をかけ合いながら生きよう

森総子

全日制共同保育の模索

滝恵子

ヤマガシ会への夢醒めて

河原純子

女・エロス
★COSMOE
13



社会評論社

東京都文京区本郷2-5-10 ☎03-814-3861

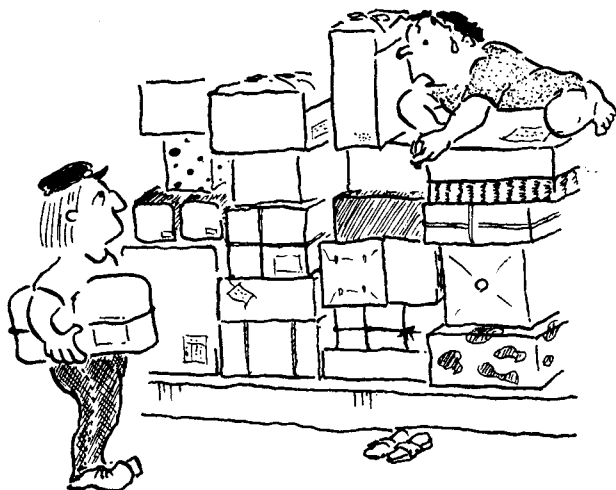


表紙・小山田チカエ
イラスト・西田 淑子
カット・松本をきえ

特集 子供を預ける

特集投稿…渡辺薫・戸谷ちか子・須藤揚子・友松悦子・前田淳子・遠藤淳子ほか……………	26
座談会・預かる側の視点……………	18

《新・冠婚葬祭入門》季節の贈りもの……………	2
随筆・たていと・よこいと 樋口弘美・新井光子・中尾久美子・小沢長太郎ほか……………	6
働き出してみても……………	鈴木恵子 12
一人だけの旅立ち—主婦の解放旅行……………	古賀清子 35
育児QアンドA……………	39
行水と母……………	原 三枝子 40
《手探りの自立》⑩手づくりネクタイ教室……………	42
☆イギリスとの出会い④……………	早川裕子 46
《わいふ家庭科》小荷物を安く運ぶには……………	50
☆離婚のしかた教えます④……………	和田好子 52
おしゃべり……………	59
次号投稿募集・投稿規定……………	63
情報コーナー……………	16
編集だより……………	64



季節の贈りもの

煩わしさと気忙しさと

季節の贈りもの——と言われてすぐさま頭に浮かぶのは、言わずと知れた中元・歳暮のやりとりである。しかしこの季節を親しい人・愛する人に心のこもったプレゼントをする楽しさをもって迎える人がどれだけいるだろう。

中元の季節ともなれば、気の早いところでは六月の末、もう玄関のベルが鳴り始める。来客ならばごく短く、つつましくやかに鳴るところを、執拗に、何回もながながと鳴らす、これはデパートの配達か、書留郵便物に決まっている。かけつけるのが遅ければ、あつという間に姿を消すのが郵便配達、これに引きかえ、まだか、これでもか、と鳴らし続け、揚句のはてにお隣にまで声をかけるのがデパートの配送人である。

中元・歳暮の時期になると、これがあるから家を空けられない、家にいても、ひっきりなしのベルの音に、おちおち電話もかけて居られぬ、アルバイトのお手伝いさんでもやとわねばやって行けない、と悲鳴を

あげた重役夫人があるが、これが大げさでない証拠には、山積みになった贈りものが納戸いっぱいになってある、いやそのためにプレハブの物置き一間を建てたという嘘のような話さえあるのである。

社用のギフトばかりが

ふくれ上って

伝統的行事のように思われながら、その実、中元・歳暮のありかたが、現在のような空騒ぎになり果てたのは、ここ十数年のことだろう。

戦前は、暮なら十三日から三十一日まで忙しいさかり、世話になったごく身近な目上の人に歳暮を送る、それも主婦みずからが向くのが礼儀であった。自分が行かなければ子を代理に立てたのである。

マイカーもなく、交通機関も少なかった時代に、一日に何軒も歩きまわれる筈はなく、暮の忙しいときそう毎日出歩いてもいられないとあれば、自ら行く先も限られてくる。

デパートの、物を売ると同時に届けるサービスが普及して、商品が潤沢に出まわり

消費者は王様、とはやされるようになった六〇年代、高度成長とともに中元・歳暮の贈答熱が高まりはじめた。

デパートでのギフトセンターの開設が一般化したのが六十年代の半ば。中元・歳暮大売出しにかかるはるか以前、中元なら六月はじめ、歳暮なら十一月はじめに、各企業・団体むけに、デパートでは大々的なギフト用品内見会を催す。取引先の会社の有力スタッフへ、大口のおとくいさんへ、人材供給源である大学教授へと、企業が贈る相手は枚挙にいとまがない。中小企業のオヤジさんなど、自分の子が通学する学校の担任の先生まで、数の中に入れる有様である。

こうして一家の主人のもとへ、取引先の会社から、職場での部下からと、職業関係のギフトが続々と舞いこみ、心をこめた個人の贈答品はその大波に呑みこまれて、アップアップしているのが現状である。

東京から大阪に転勤になった繊維メーカーの社員の家庭に、取引先から塩ブリの歳暮が送られてきた。塩ブリといえば関西では昔から珍重され、ねだんも馬鹿にならないれっきとした歳暮なのだが、東京者の夫婦は、そんなこととは露しらず。パカでか

い魚、と持て余した奥さんが、魚屋に切り身にしてもらおうと電話してみたところ、「皆さん自分でおろしはりますか」といへもない。帰宅したご亭主は、「こんな妙なものを——何て非常識なやつなんだ」と贈り主を罵る始末。

双方の認識不足からおこる、こんな行き違いをさけようと思えば、誰もがいつでも使う日用品、せいぜい甘党か辛党かの差で品物を選べ他はなく、石けんに砂糖、羊かにせんべい、紅茶にウイスキー、タオルにひざかけ、と似たような品物が山になる。贈られる宛名の主はその家の主人だが、受けとる張本人はその家の主婦、ろくろく顔も知らぬ贈り主に感謝の念を感じるところか、贈りものの量でつれあいの力量を評価し、家計が潤うのを喜ぶだけ。

「この一年、いただきものがすっかり減っちゃって……主人にそれを悟られないように苦労したわ」

停年に近く、閑職に退いたおつれあいへの贈りものがめつきりへったことを嘆いた主婦がいた。第一線を退いたひとの淋しさに追打ちをかけまいとする心づかいが美しいが、誰から何を贈られたのか、贈られた

本人の目にろくろくふれることもなく、本人の手で心をこめた礼状を書かれることもめったにない、現代の中元・歳暮のありかたを端的に語る言葉ではあるまいか。品物の大半は主婦の手で受けとられ、しまいこまれ、贈り主には〇〇太郎内などという、人間不在の奇怪千万な差出人の礼状が舞いこんで、一巻の終りとなる。

贈答あれこれ

オイルショック以来、熱に浮かされたような消費欲も一気にさめ、企業のギフトもぐっと地味になった現在、贈答の慣習から解放されている人はいないものだろうか。

うちではやっていない、という二人の主婦の条件を探ってみた。無意味な虚礼だから廃止した、と断言する一人も、別に悪い習慣とも思わないけれど——とおだやかなもう一人も、おつれあいはいずれも企業のトップクラスの管理職、贈りものはお返しをせず受けとるだけ。妻の実家にも夫の実家にも季節の贈答の習慣は一切ないという、これは稀に見る幸運なケースである。

自分の意志だけで贈答の習慣を切り捨て

られない立場にある主婦、識者のいう「虚礼廃止」においてそれは乗れない現実の中に生きているわれわれ「ただの主婦」が、納得の行く贈りかた、贈られかたを身につけるにはいったいどうしたらよいだろう。手始めに、主婦の贈答の内容を探ってみた。

贈る相手のベスト7。まず仲人。ついで夫婦それぞれの両親。おじ、おばなど親しい目上の親戚、夫の仕事上の上司や交際仲間、自分の習いごとの先生、こどもの学校の先生、かかりつけのドクター、と続く。老いた両親に現金を包む夫婦もちらほらあるが、多くは時に応じて、食べるもの、着るもの、使うものと、内容はさまざまである。

以前関係の深かった直接の上司、師弟関係にあった人に対しても、その関係が終ると同時にぱったり贈らなくなる実利派もあれば、何十年も習慣的に贈り続けている情性派？もある。

いちばん頭の痛いのは

多くは慣習的に続けられているこれらの

贈答のうち、主婦が最も悩み、頭を痛めるのは、わが子の通う学校の先生へのギフトだろう。

東京にある私立のW学園では、毎年二回父母にむけて、お気持は嬉しいがさまざまな問題を惹きおこしがちな中元・歳暮は固辞したい、と情理をつくした文章を欠かさず配っている。趣旨が徹底して、個々の先生への父母からの贈りものが減るまでに、数年かかったという。

残念なことに、公立の小・中学校で、父母からの贈物に対してこれほどはっきりした姿勢を示しているところはほとんどない。

「地域的にそういう習慣が少ないためか、歳暮にものを贈ってくる父母は全体の20%ぐらいでしょうか。やはり三年の二学期になるとふえますね。ただし進路指導にすぐく苦労して走り廻った、などということと関係なく、する親はするし、しない人はしない。会社なんかで上から下までばっちりそういう習慣のついている父母、育った環境でそういうことが当たり前になっている父母、それからいやに几帳面な父母なんていうのも贈ってきますね」とこれは東京の多摩地区の公立中学の先生の話。

父母のプレゼントが純粹な感謝の念によるものか、ごく気軽な慣習からくるものか、何か下心があるものか、表面だけでは見分けがつかない、そんなに突張らずに気軽にもらっておくほうがよい場合もあれば、すぐに返さねばならぬケースもある、あれこれ考えあぐねる煩わしさがやりきれない、と東京新宿区の公立中の先生。

「学校をやめるとき、家の母からのプレゼントです、って手作りのサロンエプロンを二枚持ってきた生徒があったのね。それまでのどんなギフトより嬉しい贈物でした」とは結婚退職したある女教師の言葉。本当に感謝したい先生には、相手に負担のかからぬ進級後、あるいは卒業後、感謝の念を表わす方法はいくらかでも開かれている。しかしそれを実行する父母はこれまでにまれ、とのこと。

学校の教師にものを贈らねば、と思う我々の心の底を、よくよくのぞきこんでみたものである。はたしてそこに、政治家の汚職につながる同じ土壌がないと言い切れるだろうか。

儀礼が儀礼にとどまらず、慣習が慣習にとどまらぬ危険をはらむ贈答は、贈る側も

贈られる側も、慣習に流されることの怖ろしさを振り返ってみることが必要だ。

家庭菜園でとれたレタスとか、手づくりのパンなどというささやかな日常の贈りものが一番嬉しい、というW学園の若いN先生の言葉が印象的であった。

心を取りもどそう

煩わしいだけが贈りもの、気忙しいだけがギフトの季節——それはたしかにどこかが狂っている。親しい人のために自分の手で、本当に役に立つもの、ユニークなものをえらぶのは、元来楽しいことであった筈である。贈る楽しさは、どうやったら取り戻せるのだろうか。

身長一八〇センチの大男のAさんは、二ハセンチの足。戦後ながく、足に合うのはたった一種類の靴しかない時代が続いていた。ある時取引先のデパートから贈られたのが「お仕立券つき靴皮」という代物。

「あれは嬉しかった」と今でもAさんは顔をほころばす。仕事関係のつきあいとはいいながら、まことに心にくい贈物ではあった。これほど気のつく相手には、商売上

の信頼も増そうというものである。

二児の母であるHさんは、人と反対に盆暮の贈りものはせず、その代り自分に嬉しいことのあったとき、特別のお金の入ったとき折にふれて身近な人たちに小さなプレゼントをするという。自分の仕事に対する周囲の理解を深めるためにも、仕事の喜びを周囲の人々に分かち合うためにも、この贈物は有効のようだ。

考えてみれば数多い贈りもののうち、私たちの印象に残るのは、盆暮の季節に舞いこむ金額のはったプレゼントではなく、むしろ季節には関係なく贈られる、心のこもった品物であり、地方からの産物である。

山梨県のプラム、北海道直送の箱づめの鈴蘭、那珂川の鮎、鳴門のわかめ——年に一度や二度、どんな家庭にもこんなつかしい訪れがあると思う。そしてプラムのAさん、鈴蘭のBさん、鮎のCさん——と、贈り主たちの面影が、感謝とともに私たちの記憶に刻みこまれるのは、たとえどんなにささやかなものであっても、そこに儀礼の強制がなく、利害の臭気がなく、慣習の情性が少ないからではないだろうか。

(田中喜美子)

たていと よこいと



私の我儘？

匿名

私の生まれ育った所は、純農村地帯で、それも我が家は一番「奥」です。田舎も今や、新興住宅地だ、ゴルフ場だとレジャー施設が増えたりで、自然が破壊されている所も多いようです。しかし私の田舎はその望み全く薄く、あたりの風景依然変わらず、なのです。

家庭内の電化製品や車のたぐ

い等は、都会とさほど違いがあるとは思えない程普及しています。しかしその他の事情は、かえって悪くなっています。小学校は一クラス八人〜十五人程度。(私達の頃は平均三十五人はいました) 中学校はもう十一年位前に統合したためにずい分と遠くまで自転車通っているようです。一日六本だったバスが廃止になって、もう十一年。私が高校を卒業した年の四月からです。大人達は車に頼れば良いのですけど、通学、通勤にはとても不便で、妹達は高校に通うのに朝五時起きでした。(バ

スがあったとはいえ、私も六時には家を出ましたが) 人々の生活は、ほとんど米作に頼り、それでは食べて行けず、農閑期は皆、と言える程この家でも日雇い人夫となります。(女も男も) それしか道がないとは言え、父などもうすぐ六十歳に手が届くというのにお弁当持参で土方仕事をしている姿を考えると、かわいそうで、情けなくなります。隣のおじさんは、七十歳を過ぎていて、耳も遠いため、炭焼きをしています。山の中から煙りが出ていて、そこを通った東京ナンバーの車が、山火事と間違えて消防署に連絡をした、などという笑話も出てきます。雨が降っても、家の中でゆっくり過ごしながら、夢の生活。農家なのですることは山ほどあり、母など食後五分だつて落着いて坐ってはいません。外食など「もったいないこと」でほとんどしま

せんし、年配者の多い土地での生活は古いしきたりとか、世間体とか、世間の目、口を必要以上に気にしています。例えば、子供二人を連れて帰れば、ケンカもして泣きます。すると母は泣かせるなど言います。家がくっついていて迷惑をかけるとかでなく、世間体のためなのです。

主人も、あまりにも山の中過ぎるため、そこで子供は育てたくない、せめて中学校まではここで暮らしたいと言いますが、私も切にそう望んでいます。ただ母は自分が好んで農家に嫁いで来たのではないため、とても苦勞して来たので、その点はとても理解があり、私には農業はやらなくても良い、若いうちから田舎に住むのはかわいそうだからと、快く別居させてくれます。それにはとても感謝をしています。父母は現在五十五歳と五十九歳。私の心の中に一

緒に住まなくて申しわけないという気持ちがある。月に二、三度は必ず行きまわすし、夏休みなどは二週間以上泊つてきます。

私はどう考えても、田舎では暮らしたくありません。これはやつぱり私の身勝手なのではないか？

矛盾だらけ

東京都国分寺市

樋口 弘美

私の考えは矛盾だらけ。まったく一貫しない。そこで、側にいた友人に語るともなしに「私は分裂かしら。それとも時折、ふうっと力がなくなり、何とも言えず憂うつになるのは今はやりのうつ病かな」とつぶやいていたら、口の悪い友人がおかしさをこらえるようにして、「そんなことを心配するよりはアル

中を心配した方がいんじゃないの、我々は」と言う。「そうね」と大笑いで友人の正当なるを認めて、さらに発展することもなくこの会話は終りとなる。

わが国でも主婦のアル中が増えているというが、これも「主婦の解放」を迎える過渡期のひとつの現象と考えられなくないか。しっかりといてないと笑ってすましているわけにはいかなくなるかもしれない。時々、主婦の悪口を言いたくなるが、確かに主婦は憐れであるとも思う。

主婦が家事に追いまくられていて、亭主たる男性は机に向かつて勉強するのもよし、後々の活力発揮に備えてゴロ寝するのもよしなのであるから、同じ能力であれば男性の方が勝るのは当然。それで女性は駄目だなどと言われるのでは全く割に合わない。

いろいろ知ってしまったこと

がかえって主婦を不安定な心理状態にしているようなところもある。知ったが故に欲求が多くなり、しかし、家事を投げ捨てて欲求を満足させることができない程、世間の目は寛大ではない。そこで欲求不満がつづり、しかも最悪なことに「仕事が生きがい」である御亭主の目にはとまることもなくアルコールにおぼれるという結果にもなりかねないのである。それともこの考えは短絡思考に過ぎないであらうか。

今日このごろ

新潟県新潟市

新井 光子

ある著名な方が嫁ぎ行くお嬢さんに贈られた本が日本書紀であったという話を遠い記憶の中からたぐり寄せて、なるほ

ど”とうなずいたのは半年ほど前であった。

折しも、太安麻呂の墓から墓誌がみつかり大きく報道され、引き続き様々な関係記事が載り興味をもって読んだ。

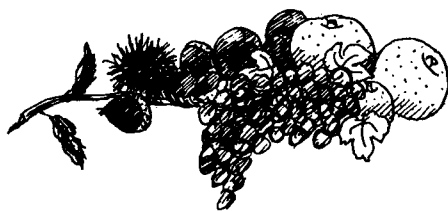
もしかすると、私のさやかな人生ですれ違うことさなかつたであろう遠い存在を、ちょっとしたキッカケが近づけ、読ませてくれようとは――。

まず、「日本民族文化の原点を考える」という公民館のいかめしい講座に参加したことから始まる。この「文化」といい、「原点」といい、戦後の混沌とした文化の中で成長した私にとって、少し時間を遡るとどうだったのだろうという歴史に全くよわい自分を埋め合わせるにまたない好機と飛びついた。また、「日本の文化」とはということとは、小さな外国旅行の折に心に引っかけたもので、やはり引金になったようだ。

注釈つきとはいえ、小説を読むような訳にはいかない分厚い上下二冊を抱えて、ほんとに読めるのだからかと不安になった。しかし、物の不足した時代に育った者にとって、レンガ色の岩波の本は、その重さほどにうれしかった。そして、持まえの「もったいない精神」が首をもたげ、慣れない文章に取り組む。

宿題をなんとか次回までにと
いう調子だったし、必要な部分だけをなめに読もうという昔の悪癖がまだ身についてカビていることに驚いたくらいだから、全部読むことになろうとは……。宿題は、神代上巻各段の神々の名まえを整理して記すことだった。八百八字の教育をもろに受けた者にとって、何と出合ったことのない文字が多いことか。珍客の訪問を受けたことく、戸惑いそしてしげしげと見つめた次第。

その場しのぎにしても、慣れるに従い、天孫降臨とくれば、その次はどうなるかといはずみがつき天皇の系図に及ぶ。初めの方はまことにスッキリと順番



が記されたが、下るにしたがい関係が複雑に交錯して、時には読み違いのため交通事故まがいの混乱となったりした。

肝心な文化云々は頭の上を通り過ぎ、皇子と皇女の名前を聞

違いなく線で結婚させてはホッとした。アレッ、これは近親も近親、兄妹ではないか。驚く材料はいろいろあった。一応の交通整理が終るころ、食べもののことが目につきます。

頼りない読解力をものともせず、ああかこうかと想像力たくましく「書紀にみる食べものあれこれ」などと、自分ばかりおもしろ半分書きとめて、多忙な先生を煩わす。珍しい問題意識がよかつた、なかなかうまくかわされても、ちよつとうれしがったりした。

そうこうするうち気になりだしたのが死亡時の表現であった。上は崩の字をあてた「かむあがりましぬ」から、死の字を「うせぬ」と読ませる下の方まで、文字としては、上から崩葬卒死の四文字だが、そこには記録側の死者に対する思惑などがあるらしく、様々な変化がみられる。聖徳太子の場合、崩の文字

をあてながら「かむあがる」ではなく、「かむさる」だったことに不満な音を出し一人おかしくなる。(今だって、あの方は一万札で一番有難いのーネ)偉い学者がすでに研究し尽くしているとしても、これまた私のものというところに執着してまとめ、友人に読んでもらおう。「よくわかったよ」という返事にホッとす。

ななめだったり、ポツポツだったりしながら読みかえし、目下書紀特有の訓ませ方をひろいながらノートし、私のものをためこんでいる。

楽しいマイホーム

神奈川県伊勢原市

中尾久美子

伊勢原市に越して五カ月たった。

今まで三方をマンションに囲ま

れた都会の谷底にいたから、自然に囲まれての生活は何んて素晴らしいのかと、感激のしどおしだった。

朝、寢床の中から丹沢の山脈が見える。「さあ／今日も張りきって」とかけ声のひとつも出ようというものの……。

自宅のすぐそばの空地に畑を作っているが今収穫の真盛り、トマト、ナス、ピーマン、オクラ、ラディッシュ、枝豆、とうもろこし、葉ショウガと八百屋さんで買うものは、あまりない。それに無農薬なので子供達に安心して食べさせられる。

世にいうマイホームを購入して、二十年もの間ローンとやらに縛られる身の上としては、すばらしいとばかり感激してはいられない。一五九号の野村さんではないが、誠にきびしい話ではある。

引越す時に、友人のいらないという食堂の椅子、スタンド、

カーテン、カーベット。テーブルは夫の実家の大きいのと交換等と、いろいろ工夫して入居した。居間などは応接セットやらないのでひろびろ、鏡の前で飛んだり、はねたり、お昼寝したり自由自在に活用できる。

この間、息子（六歳）が補助輪なしの自転車はどうしてもほしいというので、お店で見たら一万五千円ぐらいはする。マンガがついたり、やたら余分なものが多い自転車に、いささか反発も感じていたので、清掃処理場に行つて見ることにした。

「ごめん下さい／あのー、子供の自転車はほしいのですが、ありませんでしようか？」

すると年輩の男の人が「ああ、多分あると思うんですがねえ。この間持つて行った人がいるから、どうかなあ。見てごらん下さい。あつたらお持ち下さい、さしあげますから」二百メートル程奥へ行くと、山積みになつ

た冷蔵庫、バギー、三輪車等使えそうなものが結構ある。その中からよさそうなエンジ色の自転車を見つけてきた。夫がきれいにみがきあげて生き返らせた。息子共々、自転車も生き生きと第二の人生を送っている。

以上のような具合に、他人から見るとそんなもったり、拾ったりしてまで家を買うことはないのにと思うかも知れないが、これは今始まつたことではないし、以前からこの姿勢は我が家にとって全く当り前のことである。常に創造する余地のある生活がしたい、そう思っているだけなのだ。

一九八六年には、大山に登つて絶対「ハレー彗星」を見よう／と七六年に一回しか出会うことのない、その日を夫や子供と共に楽しみにしている。

どなたか一緒に見てみませんか／あと七年ですよ。

身辺から

千葉県佐原市

小沢長太郎(76)

(一)

この二年見かけなくなったのは取締りが厳重になったからだろう。この田舎町の駅にも時々白人乞食が現われた。その多くがまだ若い男で、神を売り物にしていた。男、ことに私のような老人には近づいて来なかったが若い女、女子高校生から金をもらっていた。

どっから来た。アメリカ。君の職業は、ワタクシ、カミのコ。日本語で答えた。ある日珍しく二人連れの若い女。国籍はスペインと答えた。Como esta D? スペイン語であいさつすると、muy bien, gracias 乞食のようには見えないが、上品ではない。…スペイン語で何を質

問しようか考えているうち、迎えに來た車に乗って行つた。む、マード・ダンサー。日本の若い女はまだまだ白人コンプレックス、だから白人のいい鴨——ことに田舎町では。

戦前は決していなかったと言うが現在には白人聖職者（敬虔な眼で尊敬されるべき）の中にさえもかんばしくないのがあるのは事実のようだ。

(二)

聖書研究会で五年ぶりに隣りの町へ行つた。この町へは週二日とまりこみで家庭教師に出張、四年間通つて十人教えた。昼食はみんなで出し合つて簡単な食事、実は当番のこの家でもう作つてある。始めて出席した者は金を出さなくていいのとことで御馳走になった。食べている時——交通費はいくらかかりましたか？……片道三百八十円五年前の丁度三倍、その代りに私の収入は五年前の丁度三分の

一です。皆んな笑つた。

帰り駅まで送つてくれた。車は私が兄弟二人を教えた家の前を通つた。「食べるなんてもんじゃないですよ、流しこむんですよ」私は高一、中二のお母さんの言つた言葉を思い浮かべた。「ごはんを三杯、それです」夕食にも三杯」私はお母さんに「私だつて若い時、うどん、今と違つて一把三百グラムぐらいのを、食パンなら一斤一度に食べましたよ」「そうですよ、うちの信雄、食パン八切食べちゃつて、また夕食ですから」今、私は若い時の三分の一も食べられない。病氣なんてウンと食つてなおすんだと考えていた。色が黒いので暑さに強かつた。でも冬の方が好きだつた。ウンと食つたのを消化させるために、いくらでも身体を動かせたから。でも戦争中、女の人の小っぱな弁当箱を持つているのを見て、女つていいなあと思

つた。

私は都の職員でないしよの食料が手にはいり、配給食料の三倍は食べていたが満腹感を得られなかった。

「工場の日当て二、三元。ヤミ市売つているニギリめしが二個十円、コッペパンが十五円」——毎日新聞。終戦当時。

私のパート後日談

福島県いわき市

大川原みち子

前号に書いたことの後日談があります。パートタイマーの食堂勤務は、わずか一カ月でやめました。聞けば、その奥さんは飯坂温泉で芸妓をしていて御主人の板前の月給が百二十円の時に毎月八十円宛返していつて八年間で前借を返して夫婦になつたといひます。そんなに好きで一緒になつたのに今では八歳年

上ということが災いして御主人は、

「何だか、おふくろをやつてるやうで気分が出ない」

などとぬかし奥さんはないがしろにしてしまつています。

私をやとい入れることも後で聞けば、

「貴女も四十過ぎてるからこのへんのパートの相場は分つてるだらうけれど他の人は三百円か三百五十円だけと特別に四百円上げよう」

といつたりして、それは私の能力のためなど自惚れていたのだけれど向う様は他に目的があつたのではと、この頃考えるのです。

一カ月目に御主人から電話で「今日は弟の入院があるから店を休みます。ゆっくり休んでおくんなしよ」

などといわれ年中無休の食堂なので喜んで家事など片づけていたら午後二時にまた電話で

「丁度」一カ月で時間延長も考えたいしミーティングをするから店にきてくれ」

といわれ娘への送金をどうしたものと焦っていたところなので店のことでもあり安心して出かけて行ったら御主人は一人で酒を飲んでいた。ちょっと心配になったが、

「御主人も呼びなさいよ。まだ一度も会っていないし」

などというので助かったと思ふ電話で呼んだら夫は、すぐきた。三人で酒を飲んでたら夫はいつの間にか先に帰ってしまった。そして店の御主人がけしからぬふるまいに及んだので、おどろいてタクシーを呼び帰ってきた。

そんなわけで初めてのパートタイマーは一カ月で終った。次の日、店の御主人が何故店を休んだかと電話してきたので、「それは自分の胸に聞いて下さい」

という、

「十や二十の娘であるまいし、そんなに色めき立つこともあんめえ」

などと聞き直っている。奥さんが心配して隣の寿司屋の奥さんに何故店に出てこないか聞かせてきたので私も真相を喋った。

ところが夜の九時になって又、店へきてくれと酔って電話をかけてきた。断ると十時に又つけてきた。私が店へ出なくなつてから、店を三日も休み、夕方五時になると酒を買って私の家へ訪ねてくるようになり夫と二人で酒を飲み、

「御主人は幸せ者だ。こんなきれいな頭の良い奥さんをもらつて、まるでイギリスのサッチャー夫人みたいだ」

などと大声でわめくものだから高二の息子はおどろいて二階から食事に降りてこられなかったそうである。面倒なので三日

間位東京の娘の家へ行っていたら、その留守にも朝の六時頃、その御主人が泥酔状態で家の前の道路に寝ていて高校生の息子も、びっくりしていた。

このことは狭い町なので早速



知れ渡ってしまい困ってしまった。私も自分の名譽を守るために真相を語らねばならず語れば夫のふがいなさも同時に、さらけ出さねばならない羽目になってしまった。近くに住む夫の父

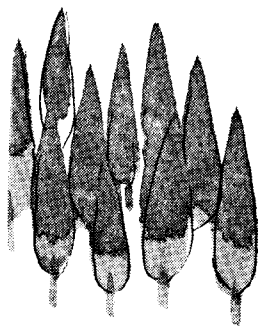
は、

「みち子は能書きばかり語ってるから一カ月で首になった」などと騒ぐので私の名譽ということでは喋らざるを得ないし、店の御主人からは、

「いいふらすのか」

と怒られるし、パートタイマーはこりごりし、また家に引込んでしまった。運が悪いというほかはない。

それにしても不可解なのは夫の態度である。酒を飲んでる場所に妻を一人置き去りにしたり、妻に何かしかけた男と二人で愉快そうに酒を飲んだり、あるいは、その男がこれからくるというのに出かけようとしたりで、ただでさえ夫婦関係が、がたびししていたのに、このことがキッカケとなつて決定的にこわれてしまったようで今は別居だけを願っている。



働き出してみて

鈴 子 恵 木

結婚してすぐ子供ができ、そのまゝいわゆる専業主婦になって五年、その間働きに出たいと何度か思ったが、夫もだんだん仕事が忙しくなり残業も多く、私の方も二人目の娘が医者通いの絶えない子だったし、パン作りやこまごまとした手作りに励んで毎日を忙しく過ごすうちに、夫は仕事、妻は家事育児と、お互い分業が身についてしまった。

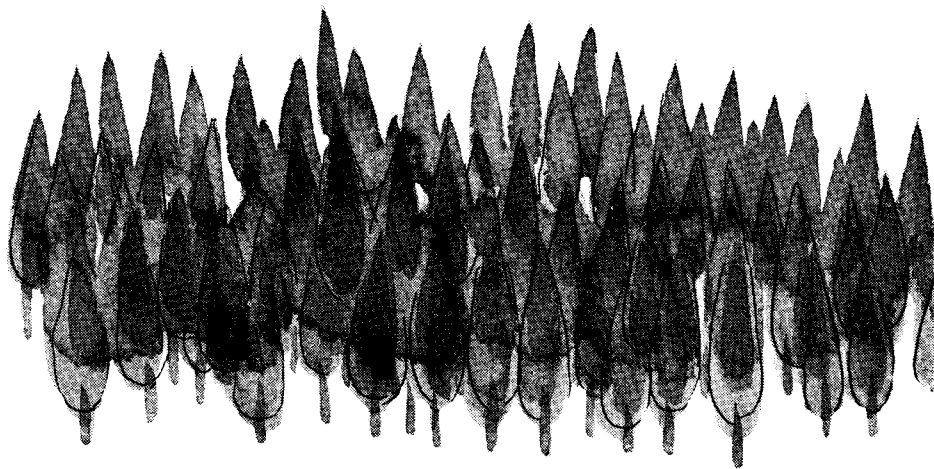
夫のサラリーは自由に使い、せっせと私名義の定期預金をつくり、「万一、貴方にあいそづかしされて、妻を失業したときのこれは失業保険よ」などと言っていた。

そんな生活の中で、なんとしても今の状況をこわしたい、スーパールのパートでも（職種に対する偏見があったように、働いてみて考えを改めさせられました）働きに出るんだと決心させたのは、対等だと思いながらも、知らず知らずの間に夫に対して卑屈になっている自分気がついたときです。

私の母が病気になる、充分な看病もしてあげられずに母を死なせてしまったことです。母は夫に気がねしなから、狭い二Kの我が家で、それでもここが一番いいと言って十日を過ごしました。

その時、そんな母を見ながら、私は自分で稼いでこの母の老後はみようと決心したのです。長男の嫁だって、自分の稼ぎで自分の母をみるのになんの気がねがあるうかと思いました。母だけでなく、私自身が夫に気がねしているのに、無性に腹が立ってたまらなかったのです。

●働き出してみて



しかし母はすぐ逝ってしまいました。後悔と悲しみの中であつという間に一年が過ぎ、また同じ生活がもどってきました。

こうやって十年、二十年が過ぎ、だんだんどうでもよくなってしまうのかと思うと、もう待てない、夫とのけんかもこわくはありませんでした。何日かの言い合いの末、とうとう「家事・育児は分担できないが、働くことに対しては邪魔はしない」という約束をとりつけることができました。こんな簡単なことに同意させるのになんにも骨を折ったことか、何よりも夫の稼ぎで充分暮せるのに、どうして働きたいのかが分らなかったようです。

働きに出た間、四歳と二歳の娘の世話を誰れがするのかというの大きな問題でした。同年令の子を持つ近所の友人が子供の保育は引き受けてくれました。万一の事故を心配して、預かり手の精神的負担を軽くするために、あるグループに加入するかたちで、子供の傷害保険にも加入しました。勤めに出る準備がなんとか整ったところで、娘が高熱を出し、また一週間ほど医者通い、こう始終熱を出しては、正規の勤めは断念せざるを得ません。

丁度近所にスーパーが開店し、パートを募集しているというので、日曜休みの条件で問い合わせると、履歴書を持って来社するようにとのこと、五年ぶりで再就職と胸をときめかして出かけてみると、

「スーパーは日曜日がかき入れ時です。日曜手当がつくから」

「日曜日は子供を預かってもらえないので、手当がついても困ります。電話では、日曜休みは相談にのるということでしたので……」

「働きたいという人は沢山いるし、時給もほかよりいいですからね」

とつれない返事、最初のつまづきはなさけなかった。

それでも食べるための職探しではなかったの。まだいくらか気が楽ではあった。時給四五〇円ぐらいでいい値なのか、そりゃ家計補助としては、たとえ三百円といわれても、ゼロよりましかもしれないが、それで生活しなければならぬ人はいったいどうするのかしら、主婦の子持ち女の再就職はパートしかなく、そのパートではめいっぱい働いても、月七、八万ぐらいしかない、その上何の保障もなく、というのが働こうとして感じた最初の疑問でした。

幸いに午後希望の人が少なく、日曜休みの条件でいいということ、十二時から五時間働くことで話が決まりました。やっとの思いで働き出して十日目、棚下しで閉店後と翌日の開店前の二時間ずつは全員出勤ときぎびっくりします。入社時にそんな話は聞いていないといっても今さらはじまりません。やっとなにに失ったくはないし、かといって夜や早朝は友人にたのみにくいし、十一月末の寒い日子供たちを布団の中にいれてなんか、のりきります。

そして十二月の暮は三十一日まで仕事、専業主婦とし

て暮している五年間に家事が膨脹してしまい、省略するのにひと苦労、手作りのよさはすがたがたいが、かと言ってあれもこれもというわけにはいかない。合成洗剤をやめて粉石けんに切り換えたというのに、また逆戻りしそうで、生活の中で何を切り捨て、何をしなくてはいいのか、点検する必要がでてきた。

正月は五日から仕事、かぜをひいて休んだ分は振替で日曜日も出勤しなくてはならなかったりで、パートだからという安易な考えでは続かないことを知ります。

子どもとの関係では、友人も二人兄弟が四人兄弟姉妹に、母親が二人に増え、子供同士でよく遊び（よくけんかし）親にまつわりつかず、ヒステリーを起こす回数が増えたなどというほどまわっていった。私が働くことによって、万一子供が犠牲になるようなことだけは避けなければならぬ、と考えていたが、だからと言って、いつでも子供が呼んだら母親は飛んできてくれるものだという考えも、改めさせなくてはならなかった。

家庭にいる母親を前提としたようなプランを立てる幼稚園との関係では、いつも苦しい思いをさせられました。保育参観は別としても、当番制の清掃奉仕日、運動会の「母と子のダンス」の練習、平日の運動会、保護者同伴の遠足と、時には娘にさみしい思いに耐えてもらわなければならぬこともあり、満員の保育園がうらめしく思いました。

夫との関係でも、少しずつ変化が現われ、時々新聞の

女性解放に関する記事などをさして「いつもおまえが言っていることは、こういうことか」などと言ってみたり、「妻が寝こんだら」などという記事の切り抜きを持ち帰ってみたり、自分から「子どもの環境」などというテレビ番組をつけたりするようになりました。私の方も、働きに出てみて、実際の労働現場の大変さはだで味わっているわけですから、夫の仕事に対する考えも、家でグチばかり言っていた時とは当然変わってきました。

仕事に慣れるに従って、パートと言ってもいろいろと責任をもたされることも多くなり、大変さとともに面しるさも出てきて、子供や夕飯の用意を気にかけてながら、残業するということも出てきました。

二十歳前後の若い人に、あごで使われるようなことはたびたびで、無能なおばさん扱いする店長や男子社員相手に大論争を展開して「人格」を認めさせるということもありました。そうやって何とか一年勤め、暮のボーナスを手にしたときのうれしかったこと、少額でしたが、予期していなかったことと、毎月のサラリーはほとんど保育料に消えていたので、これで大きな顔をして自分のものが買えると思うとたまりませんでした。日頃、大きな顔をして夫のサラリーで生活しているのですが、自分で稼いだ分はどこか違うのです。

今私は、男は仕事、女は家事育児という固定的な役割分担が一番いいんだと思っています。環境をよくしようと思っても、親子の対話などと考えても、母と子の

関係だけを改善しても何も変わらない。夫を父を男をまきこまなくては、環境破壊が続けているのは、自分の夫であり、子にとって危い今の車社会を支えているのは、その子の父であり、添加物一パイの食品が幅をきかせるようになったのも、男の集団である企業が食品を扱うようになったからで、家や子供のことは心配なく、そんな仕事に専念させているのは、結局私たち妻なのだと思います。

だからといって、妻たちが夫の傘の下で甘えているなどという意見には承服しかねます。

「夫が税金の配偶者控除のことが気になって、よけいに働くなといえます。年収七〇万越えそうになると、休め休めとうるさくて、休めば会社にはいやな顔されるし、妻は七〇万までしか働かないようにと奨励しているみたいで、いやですわね」

と同じようにパートで働き出した友人はいいです。ささいなことのように、そんなこまかなこと一つ一つが積み重なって妻を働きにくくしていると思えてなりません。この世の中、一人で生きていくのはしんどすぎるし誰れと寄り添って生きていくかと考えれば、少々不満ではあるが、この夫しかありません。（たぶん相手も同じ思いでしょう）「夫操縦法がヘタだ」と言われながらも何とか末長く付き合っていくこの人と、ごまかしではなくわかり合いたい、毎日こりずに言い合いを続けている次第です。

■文通のおさそい

どなたか、文通希望なさっていらつしやる方いませんか。

最近とはくに、手紙のやりとりというものがめつきり少なくなってきたように思えます。

便りは、書くことももらうことも、楽しいことなのに、電話で用を済ませてしまうのか、書くことが億劫なのか：なぜかしら淋しい気がしています。

私は28歳、2歳と0歳の男の子を持つ母親です。文章は上手ではありません。でも日常茶飯事を、気楽に語り合える方、お便り下さい。どなたでも喜んでご返事いたします。

300-63
茨城県結城郡八千代町
藤田四六〇一
中山芳美

■ねたまま行ける

トイレ

ねたきりの病人のために、ひとの手をかりずに寝たまま排泄のできるナースングベッドが開発されています。まだ

情報コーナー

まだ一般に知られていませんので、ご病人を抱えていらつしやるご家庭は、一度検討してごらんになってはいかがでしょう。連絡先は、東京都港区南青山5-4-35（辰村ビル）電03-490-1848、日本福祉器機研究所です。

■調査チームへ参加を

150号63頁でおねがいました身赴任のデータがなかなか集まりません。山脇史子さんとチームを組んで、主体的に調査を進めてみようと思つて下さるかたはいないでしょうか。お志のある方はぜひ、編集部に声をかけて下さい。連絡先は03-260-4771です。

■参加しませんか

「男女雇傭平等法を作る会」が発足しました。職業上の性差別をなくすために、働く若い女たちが主になって運動をすすめています。職業生活で女の地位が上らなければ、家庭内の女の地位も低いまです。主婦もご参加をぜひ。

興味のある方は新宿区若葉一ノ一〇グリーンマンションD

〇三―三五三―二三六五へ

■必見の映画きました

新宿文化センター小ホールで

●十月八日（月）

●十一月十二日（月）

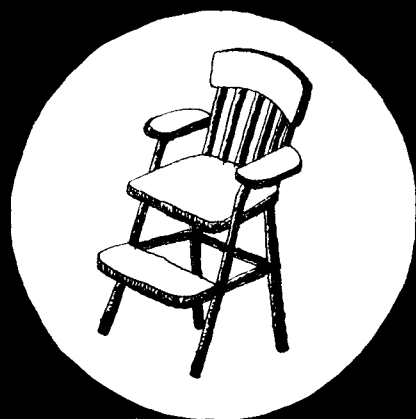
デンマークの映画
女ならやってみな

の上映会があります。男と女の役割が逆転する、抱腹絶倒のシーンの数々の後、私たちの性的役割とは何だろう！と考えるでしう映画です。昨年の映画会のあと、全国の有志の女たちがお金を出し合つて輸入したものです。

全国でキャラバンもしますのでお問合せ下さい。連絡先
東京都渋谷区代々木4-28-5
東都レジデンス410 女たちの映画祭実行委員会

特集

子どもを 預ける



特集座談会

預かる側の視点



＜出席者＞

湯川 登茂枝 杉並区 (ベビーホテル)	梶本 真喜子 北区 市川市	柳本 綸子 市川市 (共同保育)	中井 みさ子 市川市 狛江市	宮川 秀子 新宿区 (保育園)	西沢 寿子 新宿区 (学童保育)	林 慶子 司会 (編集部)
---------------------------	---------------------	------------------------	----------------------	-----------------------	------------------------	---------------------

司会 最近は保育所の他に、共同保育、ベビーホテルなどいろいろの形で「子どもを預ける場」がふえて来ました。

今日は子どもを預かる側として皆様にご出席いただいたわけですが、ゼロ歳から学童までそれぞれの子どもに接している日常の中から感じられること、見えて来たことなどお話しいただけたらと思います。

子供は品物ではない

柳本 前に新潟にいたんですが、あちらは氣候風土が厳しいので、買物や医者へ行く時など、お互い近所で預け合うのが自然にできていました。市川にきたら、それを探るのが一苦労、隣近所は公立保育園に入れてさっそうと勤めに出ている。都会は家にくっついてゐるのに、母と子は孤独ですね。

司会 ゼロ歳保育は市川市は六カ月から預かるそうですが、「預かってくれ、預かれない」の問題はありませんか。

中井 四月の入園当所、一番感じますね。その日から一日中預かってもらえらると思つてゐる母親がいます。赤ちゃんは品物じゃないんですよと、「じゃあ男女同権

で働けないじゃないですか”という。子供は親の共同責任で育てるものですね。女一人で背負いこまずに、今日は私がみるからあしたはあなたが、というふうに協力して徐々に保育時間を延ばし、その子が大丈夫という段階で預けなければ……。学校の先生にそういう方が多いですね。役所で最初から預かるという方と、といって乳母車に入れて軒下に置いていく。うちは九時から四時半まで預かるのですが、あとはパートの人ですし、赤ちゃんも人が替れば情緒不安定になります。泣こうがわめこうが構いません”といわれてもね……。今年の四月にあった例です。

宮川 うちでも“ならし保育”をやっています。子供には個人差があって、二週間位で切上げられる子もいるし、年令によっても異なります。ゼロ歳は大体二週間ですね。お母さん方にこのことを判ってもらうのが最初の難関で、女の職場はきびしいからお母さん達は自分の職場を守らなくちゃというのが先に立って我が子の情緒的な面を忘れていくけれど、二週間だけ、例えば二重保育のおばさんを頼んだり、ご主人に協力してもらったり、お金で解決できる時は思い

切って割切って、ガマンすれば、あとはスナリいくのに、そこを無理しちゃうと、あと長びきますね。二重保育も子供によく慣れている人がいい、あくまで保育園にという考え方でない方がいいですね。最初は子供にとっても一対一の関係の方が集団より疲れないし。大きい三歳児でも、集団生活をしたことがない子が途中から入るということは子供にとって大きな試練ですしね。

司会 具体的にどういう点で判りますか。



宮川 秀子

宮川 緊張しているから自分を出せないで家へ帰ってから母親に当たる、夜眠らなかつたと言言を言ったり熱を出す子もいる。お母さんが、この状態をしっかり認識できないと、うちの子は集団保育に慣れないから自分が勤めをあきらめようかと短絡して

しまいます。

司会 迎えに行った時、子供がボロリ涙をこぼすのを見て、こういうことを無視して働くのは果たして……と母親が悩むのが現状ね。

中井 そういう方ですと、私達も何とか応援して……と思いますが、“いいです、軒下でも”といわれますとね、今年の四月はこういう方が多かったですね。

司会 母親だけを責められない状況がありますね。子供を産んでいる女というだけで働く場から色眼鏡でみられる現実とか、職場のきびしさとか。病気の時も困るでしょうね。

ジレンマをバンドエイドで

宮川 うちでは“とびひ”なんかの時は、バンドエイドなどで全部覆って、働いているお母さんの労働を支えたいと思い、休ませないよう極力預かるようにしています。**柳本** 私もパートのお母さんから、熱があるが仕事を休めないから預かってくれといわれた時は、事情が判っているだけにつらかったですね。

湯川 いま病児保育の話がでしたが、一般に預かってくれないのは、どの程度の熱ですか。

中川 公立の場合七度五分以上ですね。

梶本 そういう時、保育園に行けないとい



梶本 真喜子

うことで私の所によく電話がかかってくる。共同保育ですから、例えばハシカの時すでにやった子の親が預かるとか、おたふく風邪は家で貰いたいから預かるとか、ヘルパー制をやっています。その代り日曜日に専業主婦の人が用事の時、働いている人が預かるとか、そういうところで交流しています。

司会 学童保育というのは何年生まで？

西沢 三年生までですが、地域によっては六年生までの所もあります。高学年は下校時間が遅いしクラブもあるし入らない。

司会 学童保育は、申し込めば入れるのですか。

西沢 各小学校校区に一つずつある所はいいんですが、少ない所は公立保育園以上に厳しいですね。保育園の延長線にあるわけですから、基準点数の高い順に入れる。共働き、母子家庭とか、保育に欠ける状態という……。保育園の場合は福祉事務所を通しますが、こちらは国の制度化されていないので、入所基準は各区ばらばらですし、子供に対する指導員の数や場所の広さ等も問題を抱えています。

預ける側と預かる側と

柳本 うちの外から子供を預かる場合も保育料三万円、共同保育している私たちも三万円払って預けてるんです。複雑で、共同保育の意味が判らなくなる。私たちのローテーションが苦しくなって、働いているお母さんたちに協力して貰うためミーティングを呼びかけたのですが「私たちは働いてるんだから折角の休みの日を」と断わられてしまった。ショックでしたね。私たちは



林 慶子

家に帰るのが六時半、週三日ですが、土曜日は話し合いで七時、八時になる。四年生の上の子の下校が三時半で、淋しいのか雨の日も自転車を乗り回したり、この前は留守の間に爆竹で鼓膜を損傷したりで、もうやめようかと考えましたね。疲れました。

梶本 私たちの場合は、母子の密着をやめ行政側にまかした集団保育でないものをやるとういうので、母親が交互に保育しているんです。費用は分担して昼食とか場所を借りた時の費用とかにあてている。また先程のヘルパー制のもここに入れるわけです。預かる側も預ける側も互いの日常が見える中でやり合う。日常丸ごと親子でつき合ってその集団の中で保育するという形ですから……。

司会 保育園ではどうでしょう。親が保育

者との話し合いの場に出てこないとか……。
中井 そういうことはないですね。朝夕時間がない方は、いつでも見にきて下さいといっています。

宮川 うちでも土曜の午後、親と懇談会もっています。割と積極的に来られます。

司会 やはり母親が多いんですか。

中井 いや、父親も一緒にきますよ。保育園側としては、父母と保育の協力の保育ということをお願いしていますから。

梶本 区によっては父母会を作ること嫌がる、とききました。

中井 市川市でも最初は園単位の父母会ではなく全体でした。というのは、個々の園のアラ探しになるとか、要求するとか、父母側の申入れが通った時「要求を勝ちとった」とかの言葉に抵抗があったようなんですが、いまは個々の園単位に父母会ができて、私の所でも、昨年できた園なんです。が、父母の要望で作って親との連帯がとてもうまくいっています。

地獄の様相？

司会 最近「一時子供を預かります」とい

う所が広がり「託児あり」の女の集会もふえて来ました。ようやく子育て中の母親も自分の世界、社会生活を持てはじめたか——という想いなのですが、催しなどの一時託児を見ると、子供が泣き叫んでいて大げさに言うとか地獄の様相なのね。こういう場合欧米ではどうなのか。日本の母子関係に問題があるのか、他人との関係に問題があるのか、考えてみなければと思うんですが。

梶本 場所にもよると思う。子供は禁固された形に入れられるのを恐れるから、逃げ場がある空間が必要なのは。預かる側も子供の興味をひくことが大切。預ける方も離し方を上手に、例えば、連れ立ってくる途中でいろいろ話をして好奇心をもたせて別れる、というふうな工夫がいりますね。

司会 やはり日常の親の育て方、接し方ですか。

柳本 私が悪い例なんですけど、上の子は新潟で隣近所を我が家のようにしていたからうまくいったが、下の子は市川に来て母子二人きりの閉鎖状態で育ったから、保育園で離れる時錯乱状態になって大変でした。母親の子離れが悪いといわれましたが私の可哀想だという気持ちで子供が敏感に

汲み取るからなんです。アメリカがうまくいくのは親子関係の歴史が違うからじゃないですか。日本は住宅事情で泣かしちゃいけないとか、世間体とか、割り切り方が少ないんじゃないですか。

西沢 うちが核家族ですが解放的ですから子供も出入が多い。でも家庭によっては、よその子の出入を好まないで母子だけで密着しているのを好む人もいるから、子供も臆病になっちゃうし、親も離し切れないしまた離れきれない。そういう親がついには子供の入社試験までついて行くようになる。日本では子供しか生き甲斐がないという母親がいるから、子供も母親の翼の下から逃げられないということじゃないですか。

司会 母親の好みというより、女が自分の



柳本 綾子

人生をもてない社会の仕組み、「育児は母親の役割、女は家にいるもの」という頑固な通念の中でそうならざるを得ないということでしょうね。以前アメリカの心理学者が、母猿から離れた子猿を、同じ子猿の仲間たちの中で育て、一方母猿とだけ一緒に仲間と全く接しないで育てる実験をした。前者は比較的正常に育つけど後者はずっと異常だった。人間の場合は母親も異常になる。この点からだけ考えてもこれまでの母親の在り方、生き方を変えて行かなくては……。

一歳児でも親を見抜く

中井 子供は泣くのが普通なんじゃないですか。最初激しく泣いた子の方があと長びかないんですよ。泣かない子は、環境が変ったので珍らしくて泣かないが一週間位たって泣き出す、自分を抑えていたんですね。三カ月くらい長びいてしまった子もいます。

柳本 うちの子は六カ月ぐらい泣いてましたよ。

司会 そういう子のうしろにある親子関係

はどうですか。

中井 やはりベタベタとか、可哀想だとか。**司会** 泣き続けるお子さんを預かる側ではどうやっていらつしやるんですか。

中井 赤ちゃんの場合、抱いたりおぶったり、肌に触れていると安心するんですね。集団生活が駄目なんじゃないかと思う子が今はちゃんと治まってね。

司会 根気よく慣れるようにもっていく以外に方法がないんでしょうか。

宮川 三歳位だったら、大人の言葉を使ってもこちらが真剣に話せばわかるから、母親が子供に「お母さんはお仕事をやってくるからあなたも保育園で頑張ってるね」というふうに納得させることも大切ですね。年令が小さい場合は難かしいですが、それから一時保育というのは一番難しいですね。預かる側でもその子の前の状態が判らないし。

司会 どうですか、ベビーホテルの方……。

湯川 うちでは六年目を迎えるんですが、それでもこの社会では一番古い方なんで、よく取材されるんですが、やはり母親が子離れできてないとか子供にしか生き甲斐がないとかが問題だと思います。子供も一歳に



西 沢 寿 子

なると、母親の心理状態を見抜いていて、大声で泣けば、母親が動揺して預けるのをやめようかと迷うのがわかっているんですね。ワァーッと泣いてデモンストレーションするけど母親がいなくなつて五分もすればケロッとして遊び出すんです。母親は別れる時の状態しか知らないから急いで帰ってきて安心するわけですが、実際問題として、この子は私じゃなきゃ駄目なんだと抱えこんでいるような母親の子供は、心理的に一番大へんですね。

司会 お宅はゼロ歳児が多いんですか。

湯川 ええ、ゼロ歳から一歳が多いです。うちの場合、半分は必要に迫られて、あとの半分はレジャーのためです。二人目の出産で上の子を見る人がいないからとか、家族に病人が出て付き添わなくちゃならない

保育所からはみ出したとき

からとか、母親が既に救急車で運ばれちゃったから近所の人が連れてきたという緊急の場合もあります。とにかく核家族化や地域の疎外など社会状況の要請でできた施設ということができませんね。レジャーでは、長期的には一カ月の海外旅行の間というのや、浮気のためとかさまざまです。

司会 一番困るということは。

湯川 それはお母さんが子供の情報をきちんと入れないことです。健康上のこと、子供に対してどういう関わり方をしているかとかね、いろいろ書いて頂いているんですけどね。

司会 何人くらいいるんですか。

湯川 うちは常時四、五人ですね。生命を預かる仕事ですから恐くて、少ないんです。先程の七度台の発熱で保育園で断わられたお子さんなども、どうしてもということで預かることもあります。

司会 やはり母親が連れてくるのが多いんですか。

湯川 いいえ父親とかおばちゃんもいますね。嫁とか自分の娘に託されたけれどとても見きれないし、自分は好きなことをやりたいのを孫の世話を頼まれてとか……。

司会 ベビーホテルは連盟とか協会とかの協定はないのですか。

湯川 ないんです。作りかかっているんですが難しい問題が出て、足並が揃わない。中には商品を扱うように大々的なチェーン組織にしたり、マンションの一角が空いたからとベビーホテルにしたり……。今、乱立ぎみで千軒くらいあるんですよ。東京だけで。

司会 でも、どうしても必要なときベビーホテルの必要性は大きいですね。今、実家を出産する人が多いけど、実家のない人は困りますね。夫の産休がとれるような社会になれば別ですけど……。

中井 保育園でも緊急時に預かるんですよ。

司会 審査が難しいんじゃないですか。

宮川 いや特別にワクがとってあるんですよ。

中井 お産でお母さんが病院へ行った時など、子供がやっとなれた時お別れだね。母親の蒸発で父子家庭になった場合など、空



湯川 登茂枝

きさえあればすぐ入れるんですけど。

司会 ベビーホテルの預かり料は？

湯川 二時間まで二千五百円、以後三十分ずつ毎に六百円、泊りは午前十一時から翌日の午前十一時までで一万二千元です。うちではいざという時のために億単位の保険に入ってますし、身内が医者だから、夜中でも呼出せます。

司会 価値観を変えるか、ある程度、経済力のある人でないと預けられないということですね。

湯川 ええ、でも結局、保育所からはみ出されてしまっているお母さんの人間的欲求をどこで満たすのかという問題にかかわってくるんですよ。

司会 ちょっと前まで、母親が自分の欲求のために子供を預けるなんてとんでもない

という通念がありました……。今だって、
そうですけどね。

西沢 行政の立場にいる人にその意見は一番強いそうですね。子供は母親が見るのが当然という意識、学童保育なんかで、子供の立場に立ってやって下さいというと、
“なんで母親のみるべきものを行政でみなきゃならないのか”というんですね。

主体性という名の放任

司会 ところで親の職種によって子供の躾などに違いがありますか。

宮川 職種によっての違いはありませんね。むしろ親や家族などが、その子供にどのような姿勢で接しているかが問題です。

司会 高学歴の親ということではどうですか。

宮川 むしろ高学歴の親は子供に対して甘くて駄目ですね。

中井 子供の主体性尊重ばかりいって、私達に迷惑がかかるのがわからない親が多い。

司会 主体性の名のもとに放任しているというか過保護にしている具体的な例があり

ませんか。

宮川 両親が学校の先生なんですけど、八月いっぱい夏休みで、この間でできたんですが、“夏休み中うちで野菜を食べさせていなかったから園に来たらしばらく大目にみてやって下さい”というんですね。何というお母さんだろうという前に、すごく残念でした。懇談会のお母さん達に“量は個人差があるから仕方がないが、種類は何でも食べてほしいのでお家でも協力して下さい”とお話したんです。私達、四月から四カ月間徐々に積み重ねてきたんです。夏休みの間、結局家で食べさせなかったわけですね。子供にも“園で食べてるからお家で無理に食べなくてもいい”といって。園で積み重ねてきたことを家でこわすという繰り返しで、子供は本当に食べていくことになっていけません。衣服のたたみ方、厚着、園で脱がせてもまた翌日着せてくる。何回もお母さんに連絡をとっても直さない。片付けの問題もそうですね。そういう方のお父さんは要領がいい。片付けなさいというところだったという。むしろ八百屋さんのお母さんかはお母さんが預けていく時“ちゃんと片付けなきゃダメだ

よ”といっている。先生のお母さん達は“すぐ帰ってくるからいい子でいてね”といういい方で帰られる。八百屋さんの子供は、お家でもお父さん達が毎日仕事のあと、ちゃんとキレイにして戸締りして、また次の日に備えているのを毎日見ているから、片付けも率先してやり、残ってないかと気を配る。先程の要領のいい子は、自分が一つだけ持って、やったというんですね。私なんか、みんながやる時に一人だけ得るのはいけないことだと厳しく言うんです。使った子も使わない子も全部でやらなくちゃだめ、というんですけど“ぼくはちらかさなかった”という子がいますね。柳本 愛情不足というか、私“たんぼぼ病”って言うんですけど、保育者が若い世代か何かつっぱっているのね。三十七歳で最年長の私なんか、“まあ適当に”って感じなんですけど、子どもがころんだら一人で起きねばならぬとか……大人だってころべば痛いし泣きたくなるでしょ。

宮川 保育園では、保母とのかかわり方も、友達と遊べるように言うのが第一条件ですが、常に状況判断して子供と接します。始めて入って来た子は友だちより保



中井 みさ子

母の方がまだ安心だよりかかって来る。そんな時は慣れるまでそのままにして徐々に離して行きます。連絡帳に、「今朝これで叱られて泣いた」って書いてある時は、こちらによりかかって来たときキュッと抱いてあげるとか……。

中井 預かる側として言いたいのは、やっぱりスキップってすごく必要だと思う。保育所でもスキップはできるけど、家庭と保育所のスキップは違う。足して二になるものではないと思います。司会 学童保育では、誰か中心になってくれる人がいないと子供が不安になるということはありませんか。

西沢 一・二年生の頃は保母さんとの関係の延長線上でわりに指導員のそばに行くんですが、二年、三年になると友だちとの関

係の方が面白くなるようですね。

司会 学童保育に行きたがらない子の話をききましたが……。

西沢 そうですね、指導員が子どもとどう関わるかというのは、学校の先生と子どもの関わりとは違うわけなんです。指導員個人個人の意識の持ち方で、相当内容が変ってくるんですね。まだ自分たちで遊びを考えて出していけない年令では、全部を教えるというわけではなくとも、少しはサポートしてやる。子供自身も教えればいくらでも吸収したがるんです。遊ぶのを、ただ見ているだけではダメなんですね。

梶本 でも教えるというのは子供の主体性はどうなるのかしら。大人の目で見れば何にもやっていないように見えても、子どもは子どもで何かを見つめている。何でも教える、ということではなくて、子どもには子ども自身の空間があつていいと思うの。

宮川 下の子は学童保育に行つてたんですけれど、三年生の時にすごくいやがるようになりましてね。保母の資格を持つてる人が指導して下さつて、遊びの中にも入つてくれるし、人形劇など、いろんなことをして下さるんだけど、三年生ぐらいになると

いつも同じ仲間では物足りなくて、アチャキにとび出したいっていうことなのね。違う友達とのふれ合いがほしくなると、どんなにそこでもいいことをしていても、イヤになった時はイヤなんですね。うちの息子の行つていたところは同じ学校の中にあつたんです。

司会 それはお子さんが成長したということでしょうね。皆さん方がそれぞれ預かる側、保育者として情熱を傾けていられる中で、「子育ては女」に縛られた母親たちによくやく自分自身の道が開かれて来た。しかし、今までの男が、「男は仕事」と家庭を放棄し、女に育児を押しつけて来たのと同じ姿勢で、女が育児を保育者側に押しつけて働くことになってはまずいんですよ。女の行く処、どこでも「預かる」場がふえると一見すんだように見えますが、「女は子育て」の現実をますます固定化してしまふおそれもあります。預けられる子どもにとつても現状はどうでしょうか。子どもも男も女も自分自身を生きつつ互いによい関係を結んで行けるよう、皆さんに頑張つていただきたいですね。

(まとめ 今井千恵)

特稿
投稿

子供を預ける



子連れで

外出

埼玉県新座市

渡辺 薫



我が家は娘二人の四大家族、「スーパ」の
さめない距離」に両親が健在です。おかげ
で随分とわがままも言っていられます。子
供を預かってもらうことも、もちろん期待
していたのですが、私の場合そんなに甘く
ありませんでした。現在長女が三歳十カ月、
二女は十カ月、特別の事情のない限り子連
れで外出します。

ところで私だって最初からこうだったわ
けではないのです。長女は両親にとつて初
孫で嬉しさと珍しさもあっていろいろと世
話をやいてくれました。子守りだって楽し
みのはずだったのです。しかし内孫もでき
るとお嫁さんとの兼合いがあるし、その上

子供達が成長して活発に動き回るようにな
って責任を伴う子守りは重労働になっ
たでしょう。頼めば引受けてくれますが、
母の方から「子供は置いていけばいいのに」
の言葉は聞かれなくなりました。できれば
預かりたくないのが本音だと感じるようにな
ったのです。また親の方も仕事やつき合
い等忙しい体、時間の調整も大変でした。そ
れにもう一つ別の意味もあるのです。長女
が二歳半になった時に参加した市主催の幼
児教室でいろいろと反省させられたからな
のです。たった八日間の短いものでしたが、
家の中ばかりで過していた彼女にとって大
事件だったのです。初めての場所で母親と
全く離れることは本当に不安だったのだし
ょう。迎えに行くことと保母さんの膝で顔中涙
の跡をつけたまま眠っていました。友達と
の遊び方もけんかもよく知らないようだし
た。三日目頃から楽しみにしてくれるよう
になりましたが私にはショックでした。

ここは古い農家の多い所、土と緑に恵ま
れても、一歩門を出れば交通量の激しい国
道、近くに公園でもあれば違ったのでしょ
うが、古い慣習の残る土地にそう親しくも
ないお宅にわざわざ遊びに行けるはずもな
く、ほとんど友達と遊ぶ機会はなかったの
です。幼児教室の帰り道、皆で歌った歌や
紙芝居の楽しかったこと、男の子にいじめ
られたことまでもうれしそうに生き生きと
話してくれるのを聞きながら、子供には子
供だけの世界がどんなに大切かを痛感しま
した。そして同じ預けるのなら、たとえ一
時間であろうと、何の変化もないおばあ
ちゃんの所より保育所の方が娘のためにず
つと良いことを知ったのです。そう言えば急
な用事の時でも預かってくれるベビーホテ
ルが増えているとか雑誌で読んだのを思い
出しました。少々経済的に負担があっても
気を使わずに済んだ方がどれ程良いか、我
が家にとっては一石二鳥です。近所の人に
預けてお礼のことで悩む友人と「近くにで
きばいいわね」とよく話します。しか
し現実には叶わず、結局社会勉強にもなる
だろうし連れてるのが一番良い方法と落
ち着いたのです。私は自分の親ということ

で深く考えずに甘えていましたが、お嫁さんへの気遣いもあつたろうし母の気持は複雑だったろうと思います。気まづくなることはありませんでしたが、人とのつきあいは親子も含めて本当に難しいと感じています。

抵抗

群馬県新田郡

戸谷ちか子(31歳)



朝起きると「今日は厳しくするか、柔かくおだててやろうか?」とまず考える。七時五十分、元気な子供二人を車に乗せ保育園へ向かう。着くと同時に三歳の次男は、ぐずり出して車から降りない。この時、先程考えた方法を試みるが、結局入口まで抱きかかえて行き保母さんをお願いして私は逃げ帰る。そして会社に着くと一日の仕事が終ったように思えた。

このような毎日を二年間続けたのです。今思うと親子の知恵比べ、がまん比べの毎日でしたが、がんばり通して良かったと思

います。

この子は何かに抵抗している、愛情不足か? 保育園生活がいやなのか? 入園前の気ままに散歩したりどろんこ遊びした時に戻りたいのか? ただのわがままか? 毎日悩みました。

まして私が勤めに出たきっかけは、病弱な姑と一日中一緒にいてイライラすることが多く、それをむじやきに遊ぶ子供に当り散らしてしまい、「これではいけない!」と感じたことなのです。私のわがままで子供を犠牲にしていると思うと、勤めを続けるべきか迷いました。特に冬の夕方五時半我が子だけしか残っていない所へ迎えに行った時などは、弱気になりました。

しかし、抵抗は朝だけで、日中は元気に遊べるのですから、常に期待感があったのです。

三回目の四月、長男が幼稚園児となり、次男だけが保育園通いとなったその日から、一人で入口の方へ歩き出したのです。うしろ姿を見送りながら、次男の心の成長を思うとうれしくて涙がとまりませんでした。

家族の協力と信頼できる保母さんに恵まれて、次男は腕白な幼稚園児となりました。

た。強情なところが、この時の影響かも知れません。が、どんな環境でもマイナス面はあると思うのです。

次男には、保育園での楽しいお遊戯会、運動会などのおもいでだけが残っているようです。

子育てには悩みがつきものですが、特に小さい子を保育園に預けて勤めていると、誰かが病気をした場合、家庭と職場の板ばさみになってしまふ、この時が一番つらい時です。

保育園とわたし

わたし

東京都大田区

須藤 揚子



我が家には一歳八ヶ月になるいたずら盛りの娘がいる。私はこの娘がお腹にできたなど気づいた時から預け先を考え始めた。我が家は戦前から義姉がソロバン塾を開いており、私は現在ソロバンと習字の助手、そして週二日算数教室も始めたところである。なまけ者主婦である私は、家事よりも

教室にいることの方が何倍も好きなので仕事をやめる気はこれっぽっちもなかった。

そこで水戸の母に子守りを頼んで、まずは福祉事務所へ出掛けた。役所の職員の応待ぶりの横柄さは今さら言うまでもないが、気持ちをさえていろいろ聞いたところによると、区内に保育園は区立が五十一、認可私立が十五あり定員は五千人程度、0歳児は四百名強で四月の入園児はもう決定しており、なお欠員を待っている人が五千人以上もあるということであった。そしてわかったことは、ちゃんと会社勤めをしている人が最優先され、私のような仕事の者ではまず入園は無理だろうという事であった。

偉い人に頼めば入れるそうだという話は聞いたけれど、そんな手は絶対使いたくなかった。区立はまずあきらめ、次は区の保育課におもむいた。ここはいわゆる保育ママさんを紹介してくれる所である。保育ママさんに依頼した場合、保育園とは比較にならない位条件が悪いのだけれど、とにかく紹介された人の所に出掛けてみた。電車で二十分程、知らない町を歩いてたどりついてみると、区役所との連絡が悪かったらしく思いもかけず冷たいあしらいを受

け、重い心で帰宅しなければならなかった。

今度は無認可保育所さがしが始まった。園内も広く保育の数も多く遊具も豊富な区立にくらべて、無認可保育園のなんと貧弱であることか。全く保育さん達の献身的な努力で成り立っているのである。三つ目にとずねた小さな保育園で、話を聞いてくれた若い保育さんの温かい人柄に思わず涙しここに決めたと思ったのであった。

「子供の部屋保育園田園調布分室」これが娘の毎日通っている保育園である。0歳から五歳まで三十人程を四人の保育が見えて、決して行きとどくとは言えないけれど、若い彼女達はくるくるとよく働き、明るくやさしい印象は今も変わっていない。保育は子守りでなく教育者であると松田道雄さんが書いていたけれど、ここではとても教育までは手がまわらないのではないかと思う。それなのに、季節に応じて部屋を飾りつけ、散歩をし、娘は歌を覚えてきたりする。全く彼女達の努力には頭の下がる思いである。

近所の主婦や私の友人の中にさえ、娘を保育園に預けることを「可哀そうに」と言う人が多い。そして私の心の中にも娘不憫

の思いが時として首を持ち上げてくる。ホテルニューオータニにベビールームを開いた能城律子さんは、「子供を預けるのは無責任」という風潮と戦うのが何よりも大変だったと言っている。しかし、果して母親と常に一緒にいる子供が絶対に幸せといえるのだろうか。決してそうではないと私が言う又何やら言訳めいて気がひけるが、我が娘を見ている限り、彼女は嬉々として保育園に行く。園の玄関で形ばかりママ行つてらっしゃいとか言うのと、一目散に友達のところにかけて行くのである。片言を話すようになってからは、ユウちゃんとかサトちゃんとか幼い友の名を常に口にする。先にも書いたように私はなまけ者だから、もし一人で育てるとしたら、この子にこんな楽しい思いはさせてやれなかったに違いないと思う。

毎朝九時に子供を預け、タバタと家事を片づけ夕食の準備をし、午後の授業のための勉強をする。二時頃から子供達が集まりはじめ、それから六時半過ぎまで、教室での仕事につくのである。

言いふるされた言葉ながら、「光陰矢の如し」子供が大きくなってから何かをしよう

うと思っていると、どんどん年月は去って行き、ハッと気づいた時には環境が変わっていたり、体力がおとろえていたということになりかねない。私もただ忙しいだけの現在の生活を決していいとは思っていない。今、四十代の半ばになるまでに是非やりたいことが二つある。そのことを考えていると、夫のことは勿論子供の世話さえおろそかになったりする。しかし私は私の人生設計を変えようとは今は思わない。子供が物心ついたなら母の生き方を心をこめて話してきかせるつもりである。私の娘なのだから、あの子はきつと分ってくれると信じている。

実力行使も

またたのし！

東京都杉並区

友松 悦子



“わたし、今のままじゃ窒息してしまいたいよ。週に二、三時間でいいから子供達を預けて自分の時間を持ちたいのよ”——
今から五年前、初めて夫にこう切り出し

た時、彼は大反対でした。子供は二歳と一歳預かってくれるシステムもろくに知らなかった時です。夫は子供を溺愛していて、こんなかわいい子供達をよそに預けるなんてとんでもない、ということなのでした。以来私は、この人との力関係はすべて実力行使というテをとるようになりまして今に至っています。暗中模索すること五年間、その間に三番目も生まれて、この子も来年は幼稚園です。

夫の反対意見は無視しようと心に決めたものの、子供がたのしく安心してすごせるような預け方をしなくちゃならぬ、そして私自身もその時間をとにかく充実してすごさねばならぬと気負い、これが後日大分足を引くことになるたのも事実です。核家族の上、年子で一日中母親べったり、父親は忙しくて子供達と一緒にすごす時間もなく——という状況では、母親がその時間何をしようと、ひととき子供から離れ、子供の側からしても母親不在の時間帯、その後の再会の感激！を体験させることが有効であると思いついたのは少し後になってからのことでした。リフレッシュした私の神経、遊び切った顔、全く実

力行使により納得できたのでした。

友人との預け合い、仲間による交替制（まわりもちで子供達のお守りをする）ベビーシッター・サービス（時間、地域に適した登録メンバーが紹介されて自宅まで来てくれる。三時間二、一〇〇円、その他に紹介料三〇〇円、受付手数料一割、交通費を加算）、エスク・ベビーセクター（入金金五〇〇〇円、年会費五〇〇〇円払って会員になると、地域、時間に応じて預かってくれる家庭を紹介してくれる。子供をそのお宅に連れていってお守りをしてもらう。一時間五〇〇円）、女子大生にたのみアルバイトとして来てもらう、託児準備のある講習会、集会etc……いろいろ試みましたが。費用が高くてひんぱんにはお願いできなかった。相手都合で簡単に休まれたり、来てくれる人がその都度違う人だったり、相手のお宅が遠すぎたり、とそれぞれに問題があると感じましたが、今のところエスクにお願いすることが多いです。

いずれの場合もいい方に恵まれ、よその人にみてもらうなんてかわいそうという弁は、そのみでは全くの杞憂ないし詭弁であることを証明してくれました。

エスクで紹介されたNさん宅を訪れた日のことを今でもよく想い出します。秋も深まるころとて四時を過ぎてあたりはもう薄暗がり。

「夕食は私達と一緒に食べますからエプロンだけ持って来て下さればいいのですよ」と言ってくれましたが、初めてのことでもあるしと、いそぎサンドイッチを作って持たせました。高円寺の自宅を出て大久保駅で途中下車、ちょっと道に迷ってハアハア息ついてる子供を引きわたし、またかけ足で渋谷の講習会場へ。子供の性格、健康状態、気をつけて欲しいことなどあらかじめ報告してはありましたが、どうしているかしらと心配でつい公衆電話に手をかけてしまいました。「おりこうにたのしく遊んでいますよ。御心配なく、ごゆっくり」とのお声。ああよかった！

その次の時、ドアの前で足をふんばってちょっと泣きました。回を重ねるにつれてこんにちわ、おばちゃんまた来たよと親の顔もふりかえらず、ドアの中に消えていくようになりました。

保育所

見学記

千葉県市川市

前田 淳子



昨年十二月に市川市菅野町にある「たんぼぼ共同保育所」を知りました。かねてより共同保育に興味がありましたので一日、見学に参りました。有意義な一日を過ごしたのでご紹介致します。

母親が五人で十二人位の乳幼児を世話しています。その内五人は外部から預かり、(母親は職業持ち)、あとは自分達の子供です。毎日出てくる人もあれば週三回という人もあり、充分人数が足りればローテーションで何人かのお母さんは子供を預けて自分の活動ができます。その当時は人数不足でうまくローテーションが行なえないとのことでした。

外部の方からは保育料を徴集し、その他の人は給食費二千円(?)をだし、それで家賃六万円、給食、おやつ、光熱費、その他雑費全てを賄います。もっともその運営方

法も流動的で、全員が同じように保育料を納め、それでそこから保育に携わったお母さんに給料を出すことも考えているとのこと。とにかく管理者も、責任者も、リーダーもなく、運営方法、保育内容等、全て毎週土曜日午後に全母親出席のもとに話し合い決めるといふことです。「自分の子だけでなく、いろいろな子供と生活することにより自分も子供も勉強になる」というようなことをある方が言っておられましたが、事実どの子がどのお母さんの子であるか解らないような接し方をしていました。子供への接し方、叱り方等も話しあつて余り不統一にならないようにしているそうです。

保育内容は九時半おやつ、十時散歩公園へ)十一時半うがい・給食、一時昼寝、三時おやつ、がだいたい決まっています、他は全部自由遊びです。乳児はベッドのある乳児室で寝たり、大部屋へ連れてきて遊ばせたりします。部屋は目測で八、八、四・五、二帖、台所、風呂、庭二十平方米位です。台所には大人がやっと跨げる高さに板が打ちつけてあり、子供は入れません。ストーブも床の間に置いてフェンスでしっかり囲ってあります。門もカギがかけてあつ

て外へは飛びだせず、安全面では申し分ないようです。以上がその客観的報告です。

次に私の意見をまとめると――

長所・密室育児にならず、子供達が大勢の

兄弟のように遊べる。母親もイライラ孤独に陥ることがない。

・ローテーションで時には自分一人の時間が持てる。

・仲間と色々話合つて学ぶことができる。

・自分の子供を客観的に見られる。

・外で働くお母さんの手助けができる。

短所・集団である限り避けられないが病気の感染が家庭より多い。

・通うのに時間をとられる。

・子供を一人遊ばせておいて家事や自分のことをすることができない。昼間はとにかく保育だけに従事することになる。(職業であつたら当然のことだが無収入である)

・家庭にいるより疲れる。

となります。そこで私は仲間に入ってやってみたく思つたのですが、丁度妊娠したばかり、しかも過去に二度も流産している

体なので考えた末、当分は止めることにしました。興味をお持ちの方は一度、門を叩いてみて下さい。

おばさんに

感謝

福島県喜多方市

遠藤 淳子



私は、一人身の頃から子供が生まれたら仕事をやめようとは絶対思わなかつた。

今でこそ子供がかわいいと思うようになったが、若い頃は子供がかわいい等と思わなかつた。

また、毎日あの大変な育児に明け暮れるなんてとても考えられなかつたのである。

結婚して幸か不幸か二人だけの生活であつたので、妊娠した時には、はて誰に子供を頼もうか……と少々悩んだ。幸いにして私の職場に臨時で働いていた方が、ヒヨンなことから、子供が生まれたら見てくれても良いと言ってくれたので、安心して出産することができました。

もちろん、私の居住地および勤務地には

零歳児保育所はなかつたし(今はある)私の勤務形態が少々複雑であつたので、公の保育所にはとても頼めなかつた。(日によつて始業時が違つていた)

このおばちゃん、とても教育熱心というか研究熱心で、私と一人で、赤ちゃんが泣くのは、おしっこが出る時が出た時、など調べたりする人であつた。これは出た時に泣くものと判つたので、足腰がしつかりしてくると、おしっこをさせることに二人で決めて実行した。お陰様で、少々神経質みたいな所もあつたが、おむつ離れがとくに早かつた。(一年二ヶ月位)

二人目の時は、前の神経質ということもあつたので、時期がくれば離れるだろうとノンビリさせた。育児について二人の考え方がズレルということとはなかつた。

離乳期に入ると、私は忙しくておかゆを煮てくれるというのは大変なことであつたので、時々ごまかしたい衝動にかられたがおばちゃんの家に行ってみると、私の勤務時間に合わせて、朝からこんろにおかゆなべをかけて煮ておいてくれたし、本を見てこんなふうにつけて見たと言つて、わが子にもできないことをしてもらつた。

このおばちゃんのお陰で、育児について一人で悩むこともなかったし、預けておけば私が子供を見るより安心だ。手抜きがないとさえ思ったし、非常に子供を可愛がってくれ、腹が立つことがあっても、私に一日の報告をする中で嫌なことは言いませんでした。

そして「一日子供を見てああ沢山だと思った頃、迎えに来てくれるし、あんたも沢山になった頃、私の所につれてくるからお互い良いね。休みが続くととっても会いたくなる」と言ってくれました。

私も仕事を終えて迎えに行くと子供の顔を見てほっとしながら、二、三日休んで、自分だけで子供を見るとああ解放されたと思ったものでした。

子供を育てながら勤めることは本当に苦労です。勤務先に行ってはせい一ぱい働き家に帰ると家事、育児、雑用と目の回るような忙しさであります。どうしてこんなに忙しい思いをしながら働かねばならないのだろうか……と大変悩みましたが、私は育児に専念することをいくら考えてもそれにふみ切れませんでした。子供が育った時どうするか、その方針が何もない中で勤めを

やめることはできませんでしたし、一人で家庭に居られないことを自分で判っていたからです。

しょっちゅう、親の赤ちゃんいじめが新聞を賑わしています。私自身仕事をもたずに、育児だけに専念していたら息がつまって、育児に迷い、ほんのはずみにうつぶん晴らしをしたかも知れません。

私の子供は今九歳と五歳ですが、「かぎっ子」になる悩みがまた出て来ましたが、このおばちゃんに見て貰ってほんとうに幸せだったと思います。この御恩が忘れられず今でも孫扱いを受けながら、時々顔見せに伺って居ります。

あちこち

預けてみて

埼玉県三郷市

串田 明美



五十年に「あんふぁんて」の存在を知り翌年越した先でそのグループと出会い二歳の長男と参加したが、三ヶ月程で止めてしまった。私が「あんふぁんて」を共同保育

をし、母親が自由な時間を持ち学び合う会と解していたのに対し、既製のグループは特になにかを「産み出す」ことは考えていず、子どもが楽しく遊べたらという軽い気持ちで誘い合っていたもので、正会員は四名中一名だった。長男も私にベッタリで泣いて離れず、それでも預かりましようという意気はなく一度も預けることなく過ぎてしまい、静かな女の子の中に活発な我が子一人がエネルギーを抑えられた姿は順当でないように思えた。良い趣旨のもとに集まっても最初の話し合いがどんなだったのか、意志統一が足りなかったように思えるし、中途参加の私が「あんふぁんて」産み出す」の名にこだわりの一人かき回しかき回し疲れて引き退ったといえるのだろうか。子どもを預け合うということは快なることと不快なことの繰り返しで、それをどう乗り越えてプラスに持っていくかが課題である。そして乗り越えるのには話し合いが一番とわかっていても、話し合うことなどめんどろうと思っている人もいるわけで、人の気持を動かすのは容易ではないのだから、目的を明確にして集まる事が一緒に続けていく第一条件だと思った。

現在私が歯科医に通うため、一歳の二男は何回となく預けられ相手の都合次第で五軒の家にお世話になった。五軒共親しくして「お願いします」「いいですよ」という体制はできているが、それでも預かってもらえるかしら、悪いかしら、大丈夫かしらという心配はあったし、私と離れて泣きぐずることはわかっていたので心苦しかった。相手によって泣くことが負担をかけた。過ぎてしまうと、次回頼むのは遠慮したくなる。私自身もどうぞと預かる方だが、自分の子を預けてみて気持ちよく預け合うことはどういうことか参考になる。核家族で親戚知人も遠く、寄り集まった知らぬ者同志が子どもをちよつと預けられるようになるのは、互いの信頼関係の礎ができたからと思うが、それに甘え切らず謙虚につき合っていきたい。

団地に住んでいるので幼稚園は多く、五六台の通園バスが通って行く。私は目的は「……保護者と保育者が互いに研究し合い必要な施設を作るための教育運動を進める」とある幼児教室に子どもを入れた。ひらく言えれば保育料が安く母親も大いにかり出されるということ、一歩立ち入ってみ

れば安い保育料でもよい保育ができるよう先生、親達が協力して民主的に話し合い行動するところであった。一学期の様子の一部をみても、年少の時袋に入れて行ったお弁当がハンカチで結んで行くようになり、クラスの当番は簡単な司会の他に雑巾をしぼって机や床を拭き、鯉のぼりは色画用紙の鯉に包装紙(家庭から集める)で鱗を切ってはりつける等、先生からのプリントも子どもの作品製作の細かい様子や生活の基本を踏まえての注意等、一つ一つがありがたきおのずと協力する気持ち昂まってきた。母親の方も、文化・財政・渉外・広報の何れかに属し、各部の活動に参加するし、役員会、先生との話し合いの会はいつでも傍聴してよいことになっている。母親の意見が自由に言えるということはいささか重箱の隅をつつくに似たこともあるが、一人一人が疑問を残さずに解決していけるなんて、本当に良いところに子どもを預けられたと感動している。また遠くの幼稚園に入れたことで母子共に交友関係が広がって夏休みは縦横無尽に遊び回っている我が子を見て数多くの友人を持てた幸せを心から喜んでゐる。

預かって

います

東京都新宿区

長谷川久江



末子(四人目)が一年生になり子育てもひと区切り、やれやれと思った矢先、すぐ近くの女子医大皮膚科医の赤ちゃん、生後六週を預ってくれとのこと。どうしようかとしばらく考えた末、先方の事情など聞くうち引受けることにした。時間は九時〜五時で一ヶ月五万円、五時過ぎる場合割増しがつく。ミルクその他一切持ち込み。車でゆりかごに寝かされ送り迎えされた。始めはなかなか思うようにミルクを飲んでくれなかったが、一週間位で要領もわかり、六年前の我が子の感触を思い出しつつ育児にもなれた。四時間おきの授乳、オムツ交換は一時間おき位、貸オムツで洗たく一切なし。一日の大半はねむっていてあまり手こずることもなく半年が過ぎた。四月いよいよ保育園(百五十人収容)に入れることになり、ならし保育で約一ヶ月間を送り迎えした。

風邪で熱を出した時など薬をミルクに入れてのましたり、熱を計ったり目を離すことはできないが、正常の時はちょっとした買物ぐらいはできた。娘（二年生）は喜んで世話を手伝ってくれたし、末っ子は自分の妹でもできたかのごとく、しげしげと見入りなでまわし可愛いかった。長男（中学一年）はしみじみと赤ん坊ってこんなに可愛いものかねなどと、ぎこちない格こうで抱いたりもした。

我が子の時は夢中で（三人目四人目はかなり余裕があったが）過ごした育児も、今こうして時をおき、赤ちゃんの世話をすることは客観的にものを見判断して、自信持って世話することができた。どんなに愛情があっても、二十四時間携わっていると、ときにヒステリックにもなりかねないが、一定の時間のみだと思うと、どんなに泣こうがぐずろうが、ある時間がくれば、それから解放されるとわかっていいるからあまり苦にならない。

場所柄（女子医大の近く）時々赤ちゃんを預ってくれないかしらと耳にする。というのも、保育園の人数は限られている。全国的にそうであるように今この近辺でも子

供を預けたいと思っても、なかなか預かってもらえない人がいる。仕事柄朝九時前、夕方五時過ぎ、発熱時、諸々の病気の時その悩みはいっそう強い。公立の保育所は前記の状態だと一切預かってくれないから。

八月より、今度は、十ヶ月の女児を預かることにした。夕方四時半保育所に迎えに行き、母親（内科医）が迎えにくるまで夕食をさせて待っている。離乳食を作ってあげる。つかまり立ちをはじめ人見知りの頃なのでとても手がかかり目も離せない。それでも、なれたらいつそう可愛い。こちらは一時間六〇〇円その他食事代、内科医だから患者の状態が悪い時は遅くなることもあるが、大体六時半か七時頃には迎えにくる。当直の時はパパ（産婦人科医）が迎えにくる。子育ての経験があれば、誰れでもできそうだが、現状はなかなかそうはいかないようである。私自身満足してやっているわけではないのだが……。

かつての看護婦の経験を生かして病院勤めをやるうかと思っていたのだが、今の私にはできそうにもない。でも四人の子達はどうの子も健康で明るい良い子ばかり私には何よりの宝でもある。

△わいふ▽読者の 皆さまへ！

〈わいふ〉で紹介する本を読みたいと思ってもなかなか手に入らないとお便りをときどきいただきます。書籍購入の難かしい遠隔地の方、あまり外に出られない方のために、送料は編集部負担でお送りしますのでご遠慮なくお申し出下さい。

●魔女の審判・駒尺喜美 小西綾 エポナ出版……………¥950

●魔女の論理・駒尺喜美 “……………¥920

●子どもをあずかる・国立公 民館・未来社……………¥1200

●いどばた考現学・伊藤雅子・未来社……………¥1200

●女の現在・伊藤雅子・未来社……………¥1200

●おんなの戦後史・もろさわようこ……………¥1200

●おんなの歴史（上）・同右……………¥850

●おんなの歴史（下）・同右……………¥850

わいふ編集部

育兒 Q & A



Q

いじめられっ子

静岡県静岡市

伊田千枝子

四歳の長男についてご相談します。

小さいころはおとなしい、いい子であったが、三歳ごろから友だちと遊ぶことができないことに気付きました。

たとえば、友だちの家に行き、「遊ぼう」と言っても、相手の良い返事がなかったら泣き顔で帰ってきます。

また、一しょに遊んでいても、失敗をきびしく責められ、とかく仲間はすれになりやすいのです。

こんなとき、わが子はじっと黙って耐えているようすで、たまたまそんな状態を見聞きした私が、たまたまなくなつて代弁したり、相手の子をさとしたりすると、ワツと泣き出したりします。

Q

“生理”で変った娘

東京都北区

匿名

小学校六年（十二歳）の娘です。幼ない

頃からユーモラスな仕事で近所の人気者、はきはきして幼稚園でも小学校に入学してからも、クラスのリーダーとして先生方の信望も厚く、心配のない子供でした。

家族は主人と小学校二年（弟）の四人ですが、帰宅時間の早い主人は毎晩二人の子供相手に大爆ぎで遊んでくれました。だから親の愛情が足りなかったと思えません。

ただ、他家へ一人で泊ることができず、慣れている私の実家に置いて来た時も、泣きに泣いて、夜中に連れに行つたことがあり、五年生になってから学校で行なわれた移動教室（一泊）でも、当日の朝までベソをかき、頭が痛いから行かないと私達を困らせたことはありました。

しかし、あんなに明るかった娘が今年の二月“生理”になってから、がらりと變つてしまったのです。ひどく反抗的になって部屋に閉じこもり、家族と楽しもうとしません。叱るとますます態度が悪化して手がつけられません。

主人は「過度期だから見守ろう」といいますが、母親の私はやはり心配でどうしたらいいか、かつて同じ経験をなさつた方がどう対処されたか聞かせて欲しいです。



一人だけの

旅立ち

主婦の解放旅行

東京都大田区

古賀 清子

諦めてはいけません！

「旅行はしたいけれど、国鉄も、旅館も、ホテルも、何もかも値上りムード、学生さんみたいに学割が使えるわけでもなく、遠くはよして、近くで、それも一泊程度でガマンするわ」

なんて女々しくも諦めてしまう方々も多

いのではないでしようか？

でも、諦めないで下さい。安く旅する方法、安く泊れる方法がいくつかあるので

「雨もりのするようなどところに泊められるのかしら？」

いえ、所によつては、一流ホテル並みのお部屋も安く泊る方法があるので

ここで、どの切符や周遊券を使うか、また旅館、ホテル、民宿の違いなどということは後にまわして、一つの例として、女一人、安く、気持よく、安全に、安心した旅をめざして出発しちゃいましょう。

●まず始めに持ち物です

化粧品、洗面具、着がえ、目覚し時計、雨具、懐中電灯、身分証明書などを入れ、その他に大きめのハンカチ、ストッキングのスペア、健康保険証、手帳、自分に必要な薬品（酔いどめ、消化剤など）ティッシュペーパー、クリップなども忘れずに。

●ここでお金について一言

行く先に、自分が利用している銀行の本支店があるかどうか、前もって調べておきマネーカードを持って行くと、いざという時、大変助かります。この時、日曜や祭日などの銀行が休みの日に注意してね。とかく忘れてしまうものなのです。

もし銀行などない場所だったら、郵便貯金をしておいてその通帳を持って行けばどんな小さな村でも、郵便局の一つや二つは

必ずありますから、そこから下ろせばいいでしょう。これが意外と便利なんです。

●次に時刻表について一言

大型時刻表は便利だけど荷物になっちゃうし、小型は見にくく、それでいて結構かさばるのよね。そんな時は、自分が行く場所の時刻表のページだけ、大型のをコピーして持って行きましょう。コピー代一枚30円前後だから、小型の時刻表を新たに買うより安上りです。その他ガイドブックなど必要なところだけ、これもコピーしてしましましょう。

●指定券とカメラについて一言

前売り指定券を買ったら、手帳にその座席番号・号車番号をメモしておきましょう。

こうしておく、もし失くしてしまっても車掌さんに事情を話し、その席が他の人のものでないことが分ると、料金はもう一



度払わなければなりません、その席にのせてもらえます。乗車券は、お金さえだせば何回でも買えますが、指定券はそうも行かないのでメモをしておいた方がよいでしょう。

さて、カメラは、できればフラッシュつきのパカチョンの方が、女性にとっては扱いやすいようです。フィルムもカメラやさんに入れてもらい、すぐ写せるようにしておいた方が安心です。

これで一応は十分なのですが、貴女が女性であるならば、これだけは必ず持つて行って下さい。それは内縮錠とかウズマキ錠とかいう名で売られている錠なのですが、これはふすま仕切りでカギのない民宿の部屋に泊った時など、戸と上カマスの間に差しこみ、つまみを右に廻すと締まり、ぐっすり安眠できるでしょう。

この程度用意ができればいいのです。何も、下着類をたくさんつめこむことはないのです。もしも下着が汚れたら、宿の風呂等で、ササツと洗い、ちよつとクリップに吊しておけば翌日はもう着られます。

切符代を安くしましょう

さて、出発

です。今回は飛騨高山にでも、行ってみませんか？



「切符は？」

運賃が片道五三〇〇円、それに新幹線（指定席）が名古屋まで三一〇〇円、だから片道八四〇〇円、往復で一六八〇〇円也。「まさか」

ちよつと高すぎませんか。それに高山本線で往復急行に乗ったら一八〇〇円にもなってしまう。といって高山ミニ周遊券なんてないじゃない。

いいえ、もっと安く行けるのです。

「あら、ルート周遊券五〇一があるわ。

一一五〇〇円だし……。でも上高地から入り乗鞍、高山へと出るか、その逆かでしょう。上高地や乗鞍は行きたくないわ……。」でも、ちよつと待って下さい。まだ安く行けるんです。それもルート周遊券を使わずに……。

北陸ワイド周遊券を使うのです。東京から八九〇〇円です。

「北陸まで行かないわよ」

いいのです。途中下車を高山でして、そのまま帰ってきても一向にかまわないのです。それに、東名ハイウェイ・バスにだって乗れるし、高山線で急行にだって乗れるんです。また、帰りに高山、新潟を回って帰ってきてもいいし、もちろんそこに途中下車しながら回ってきてもよいのです。

それに急行列車の自由席、東名高速のバスなど、自由に急行券なしで乗ることができなのです。（但し特急は使えません）

東名高速バスについて

●所詮バスはバス——と馬鹿にする事なかれ！

一度は乗ってほしいのです。冷暖房つきはもとより、グリーン車なみのシートで、もちろんリクライニング。そしてあの列車特有のガタンゴトンといった音がなかったので多少神経質な方も、ウトウトしている間に名古屋まで行ってしまうのです。

それにトイレまでちゃんとついているんですから一度はぜひ乗ってみるべきだと思いますよ。安全性は、ベテラン運転手さんが運転しますし、それに途中で交代します

ので安心して乗ってられるんです。それにバス自体に無線電話までついているんですよ。至れり尽くせりの高速バスなんです。

でも、逸る心。せめて行く時ぐらい新幹線で行くのも良いでしょう。よほどのシーズンでもなければ、少し早く行けば自由席に乗れます。

貴女は周遊券をお持ちなのですから、自由席特急券、名古屋まで二九〇〇円だけ払えば良いのです。

東京発十時三六分発という、ゆっくりした時間のひかりに乗っても、十二時三七分名古屋着、そこで一時発の急行、「のりくら三号」に乗りかえると、四時三十分にはあの「小京都」とも言われる飛騨高山に着いてしまふんです。

六時間余りゆられてきて、若い学生さんならともかく、家事に追われる毎日で旅行なれしていない方は、今日は早めに宿に落ちつきたいものです。

安くてきれいな宿——あるんです

部屋がきれいで、風呂も清潔で、食事も

おいしくて、お安いくところ——。

そこが問題なのです。色々と整っていて宿泊料が安いところ。それは「国民宿舎」なんです。へたなホテル顔までです。宿泊料三二〇〇円〜三五〇〇円程度。

全国国民宿舎連盟で出している案内書であたりをつけてみて下さい。

予約がむづかしいという人もいますが、混む時期を外せば大丈夫。

宿舎という名前がいけないんですね。せめて「国民の宿」とか「ホテル・ピープル」とかいいばいいのに、いつも思うんですが。

でも中身で勝負。女一人でも、安心して泊れるし、フロントでは旅の相談など、色々と面倒をみてくれますし、何といっても宿泊料がキチツとしています。

もし食道楽の貴女なら、前もって注文しておけば、お料理の追加もしてくれます。





たスリル!

あの周辺、色々楽しめるのです。

●おみやげについて一言

おみやげのために旅行をしてくる方がよくありますが、ほとんどのものは東京で買うことができます。

でも、絶対に買うことのできない“おみやげ”、それは心の思い出です。

ですから、『スタンプ帳をお持ちになって下さい』とおすすめたのです。駅や景勝地などには必ずといってよい位、スタンプがおいであります。また、駅などで見当らなかつたら、「ここにはスタンプはありませんか?」とお聞きになれば、出してくれます。いたずらをされたりしないために奥に置いてあるところがありますので。

それから、木の葉を、スタンプ帳にはさんだり、シオリを持って帰ったり、そんなものが、すてきなおみやげになるのです。

そして、お年寄りの方がおられましたら、おじいちゃま、おばあちゃまにだけは、おみやげをね。

お子さんには、ささやかなものを、そして、お母様のすばらしい旅のお話が、おみやげのすべてであり、それによってお子さんが大人になった時に、自分自身の体でそれを味わいに行くようにさせてあげるのが本当の意味での“おみやげ”ではないでしょうか。

参考までに、私の場合、おみやげはあまり「おみやげ屋さん」では買わず、その街その街のお買物中の奥さまなどに聞いて、ふつうのお店で買うことにしています。

例えば、お魚の「開き」などは、その方が安いようですし、上げ底ということもありません。それに「“おみやげ”にしたいの」と言うと、ちゃんと包んで下さるところがほとんどです。

女の旅の楽しさは何かしら。ファッションにあるとは思いません。何も旅行のため

に新調までして、ワンピースや、スーツを作ったり持って行くなんですごく馬鹿げています。

そうなのです、持っているもので十分なのです。

「これ近所では着られないわ」

「ちょっと派手かしら」

そんな洋服を、着てみるんです。そしてどうしても無駄づかいをしたいあなたなら、ちょっとしたイヤリングでも買ってつけてみましょう。

お化粧も、ちょっと派手にしてみる。

これが、女の旅の楽しさではないかしら。湖のほとりや、夕ぐれ時の高原で、そんなファッショナブルなご自分に酔われることも、必要だと思いませんか?

良いご旅行をお祈りします。

筆者より「本当に役に立つ旅行のハウツウをできるだけ詳しくお知らせしたいと思っています。私が当然と思っていることで皆さまがご存知ないこともあると思いますので、旅行についての質問を何でも、編集部までお寄せ下さい。



行水と母

東京都中野区

原 三枝子

ラジオのスイッチをいれたら、「行水の捨てどころなし虫の声」の句について、俳人の一人とアナウンサー氏が対談をやっていた。その時、行水というのは暑い夏のうちにやるものだと思うが、虫の声がするというのだから秋なのではないかねえ。おかしいですね。と俳人の方が話していた。それをきいていて、ふと子供の頃みた母の行水姿を思い出し、必ずしも行水は夏のものとは限らないだろうにと不思議に思い、さっそく国語辞典で調べてみた。

身を潔めるための行水などはさておき、「行水名残」という字句にぶつかった。

「行水の名残りや月も七日過ぎ」というのが乙字俳句集（大須賀乙字）にあって、秋の半ばも過ぎて行水をやめることとある。また、続春夏秋冬（河東碧梧桐選）に、「五位鳴いてそぞろ行水名残かな」の句もあることがわかり、行水名残は秋の季節のものとはつきり出ていた。暑さ寒さも彼岸までといわれるように、虫の声のにぎやかな夕暮れにひきかえ、いまでもむかしも日中は汗ばむような残暑が続いていたものと思われる。

それにしてもあの俳人先生、あっさりと行水の意味を片づけてしまったのはどういうわけであらう。

母の行水といっても、行水だらいを使う本格的なのではなくて、台所の流しで、洗面器にお湯をいれて上半身を洗うのである。

私の子供時代は、広い台所の一隅に大きなかまどがあり、まきやばや（養蚕に使ったあ



との桑棒を干したもの等)をくべての煮炊きだったから、どうしてもすすけた天井同様、半日も働くとすぐ顔や首など汚れたのだろうと思われる。母の行水は外出の直前であった。朝早くから暗くなるまで百姓のおかみさんとしてよく働き、その上に、長いこと村の婦人会の副会長をやったり、青年学校へ活け花の指導に出かけたりで大奮闘の生活だった。

母の外出は、どんな場合でも夕食の支度をする頃には帰宅していた。夕食時には、外であつた出来ごとが話題となり、父に話す大人の話なども子供なりに興味をもつてきた。

母の話しぶりはたいへんうまかつた。婦人会主催の講演会などもちよいちよいあつたらしく、あるときは、偉い将校さんが来て、「日本はいままで十年に一回は必ず戦争をやっている。あと二、三年のうちにまた戦争が起きるだろう」と話していったとき、私は不安に小さな胸を傷めた日々のことをよくおぼえている。また、逆境の中で生き抜いた女性の物語りを話すときは、母は話しながら自分も泣きだしたりすることもあつた。

母の土産話がどんなにおもしろくても、台所でピチャピチャと肌脱ぎになつて行水をしている母の後ろ姿をみると、あまた出かけるのかと子供心に寂しく感じたものである。■母のからだは白い肌というより、黄味を帯びたキメのこまかい弾力性のある肌だったように思う。五人の子を育てた乳房は、ブラジャアなどの世話にならないから素直に垂れさがつていたものだ。

戦前の女の外出姿は殆ど和服であつた。長じゅばんに半衿をつけると、母は特に首の後ろにあたる部分に神経を使い、半衿の内側はくけこむようにしていた。どの角度からみられても、人から後ろ指をさされぬようにとの身だしなみは明治女の気骨のひとつともいえたのではないだろうか。

いまどきはシャワーもあつて、近代設備の中の暮しは、たいそうらくにはなつたけれど、薪を割り、くべ、そして黒光りした板戸に、板の間に、ゴシゴシ力をいっぱい入れて雑巾をかけ、タライでの大洗たくをし、畑仕事をやり、午後からの文化的な時間を持つために、母はきつと心はずませて行水をしていたのであろう。そのころの母の年齢よりはいふ年をとつたいま、そんな母をほんとうにいとおしく思ひだすのである。

手づくりネクタイ教室



戦後の物資不足のころ、古いネクタイ芯を取り出しては端ぎれでネクタイを手作りしていた母や叔母たちの作品を見て育ったせい、ネクタイを手作りする、ときくとどうも野暮ったいイメージがつきまとう。ところが手作りネクタイが一般になかなか好評で、作るだけでなく販売もしている、という。

どう考えても細かな根気のいる仕事に向

くタイプではない古い知人にも、手作りネクタイに夢中になっている人がいる。

これは「手探りの自立」で一度取り上げてみよう、ということになり、紹介されたのが東京都多摩市にお住まいの田中準子さんである。

お稽古ごとに憶れて

田中さんは「日本手づくりネクタイ普及協会桜ヶ丘分室」の分室長で、正講師として毎週火・木曜日の午前中、多摩ニュータウンの集会場で教室を持ち、土曜日は自宅で個人教授をしている。

ネクタイ作りを始めたきっかけは、仕事を得ようとはじめてたのではなく、「お稽古事にあこがれて……」という。なぜお稽古事にあこがれたのかは、田中さんが娘から妻、そして母という一般的な道と少し違った歩き方をしたことが第一の理由である。

田中さんは大阪生まれ。結婚前、化粧品店のセールスをして売り上げをぐんぐんのばし、結婚後もその仕事の続きとして化粧品店を経営していた。会社づとめの夫君を送

り出し、次々と生まれた三人の子どもを育てながらの生活は、相当に厳しいものだったという。

店は順調だったが、少々疲れを感じていたところ、夫君の東京転勤がきまった。これを機会に店を閉め、一家五人東京へ。田中さんははじめてサラリーマンの妻の生活を味わうことになった。

「仕事を手離したという淋しさよりも、今まで仕事に追われてできなかった」お稽古事「にあこがれて、いろいろなものに出して楽しみました」

時間の余裕ができて、好きなお稽古事に楽しい日々を送っていたある日、

「ねえ君、ネクタイの作り方を教えてくれる所があるんだって。君もやってみたらどう？」

と、夫君に言われたのである。

面白そうだし、夫の締めるネクタイを妻の自分で作ってあげられるのはいいなと思いい、早速電話帳を繰ったり、近所の人に問い合わせたりして不案内の遠方まで出掛けて半日講習を受けた。

その日午後までかかってやっと一本作った時の感激!! 夫君も「本当に君が作った

の？」と制作品を手信じられない様子。

もう少しつきつめてやってみたいと思うようになり、再び探しはじめて今度は今の協会の教室にめぐり合う。ここでの講習は刺激になって、どうせやるからには資格だけはとっておこう、と上級まで進み、染色コースもとって正講師となった。

それからは夫が今まで締めていたネクタイは全部処分して一本一本手作りのものを増やし、夫の会社の方々へのプレゼントに作って喜ばれ、自分でも楽しむようになった。

ネクタイ作りのだいご味は

ネクタイ作りの面白さは、何といっても自分のセンスをフルに生かせるところにある。

ネクタイの生地素材は、よくよく厚地のものではない限り何でもよい。木綿の洋服地、絹の和服地、うすいジョーゼット、やわらかいウール、それらをどう活かすかが腕の見せどころ。もちろん染めて好みの布を作ることもある。

「最近はどうな生地でもこれはネクタイ

にどうか、と斜めに見るくせがついてしまいました」

面白いもので、そんなふうになんて入れてやらんでも、型紙にあわせて裁断し、さて仕上げてみると、やはり考えていたものとは違ったネクタイがで上がる。その時の昂奮がこの仕事の一番の魅力だ、と田中さんはいう。

生徒に教える素材はポリエステルを使っているが、田中さんの教室の特徴は、芯地に独得の布地を使い、締めやすく、よじれないネクタイを作りあげる点にある。

「ネクタイはしめてみなければ良さが分らないのです。その締め心地を知っているのは、ネクタイを必需品としている男性だけです。私たちの作るネクタイの芯地は、古くなくてもよじれませんし、一針一針手作りにしていますので、やはり締め心地が違うんですね」

ネクタイ作りのよい点は、まったくの初心者で作ったものも、ベテランの先生が作ったものも、みたところそれほど大きな差はないということだ。出てはならぬ大きな針目が表に出て、ほどこいてやり直すなどという失敗さえしなければ、時間も三時間た

らずで一本仕上がる。

91センチ幅の布が50センチあれば二本のネクタイが一本三時間ででき、自分のえらんだ生地が一つのアイディアにもとづいて作品として生れかわる楽しさが、ネクタイづくりのダイゴ味であるらしい。

型紙にあわせて芯地を断ち、表地を断ち表地で芯をすっかりくるんでまっつて行く。とくに器用な人でなくとも、誰にでもできる作業なのだが、やはり芯と表地がびったりとあつて、すんなりよじれずに出来上がるのは、生やさしいことではない。

「誰にでもできるけど、むつかしい仕事でもあるんですよ。器用、不器用よりも、根気ですね」

地区の分室長に

地区の支部長から、教室で教えてくれないか、とすすめられた時、田中さんはすぐに受けようとはしなかった。

若い時と違って今は家族との時間が大切だ、がむしゃらにやって失なうものもの大きさも知っている。

あれこれ悩み、考えて、やっと分室を持

つ気持になった。

火木土、週三回の講習以外の日は、布地探しと販売の場所を探して交渉することに追われる。

生徒の作ったものをまとめて地域の大きなスーパーや銀行、会社などで販売するため事前に交渉するのは田中さんの役目。ここで昔化粧品を売っていた時の経験が役に立つ。定期的に販売コーナーをもうけているところでは少しづつ固定客が増えてきて、これが教室みんなの喜びである。

男と女のセンスの差を痛感するのも、販売の収穫の一つである。男はどちらかというとあっさりした、もう一つ物足りない感じのものを好み、女は完成されたこつたものの、ワンポイントものなどに手を出すという。夫婦、恋人の間でも、意見の一致をみることは少なく、どちらかが諦めて従うか、結局は買わないかの幕切れになる。

面白いことに一人の客が両手に持って決めかねているネクタイのどちらもが同じ人の作品、ということがままあることだ。また何時来ても同じ作者の作品に手がのびる客もある。これは買い手と作り手のセンスが一致しているということで、このあたり

の妙味が作る人を刺激し、喜ばせもする。励みにもなる。

「これを作った人はどんな人？」と客に聞かれることがあると、

「とてもセンスのいい美しい方です」

名前は決して明かさず、そう答える。それが相手を満足させ、手づくりネクタイを印象づけたりするようで、販売に立つとてもいい勉強になるそうだ。

販売価格も自分達で決めるが、地域が三千円から四千元。だから布地の選択によつては一本で相当の収益を得たり、材料と手間でとんとんの時もある。田中さんの講習料と販売で得る収入は、夫君の扶養家族としての限度額を越えない程度にしているという。

講習受けて販売も

手づくりネクタイを勉強するためのコースを本部（03-984-5646）のマネージャー長谷川さんに問い合わせると、まず初級コースは受講料三千五百円。この内にはテキスト、型紙、表地一本分、裏地三本分、芯地三本分、ネームリボン三本と贈

答用パッケージがセットとして含まれていて、約二時間半の講習で作品を一本完成させる。二本目からは端切れや古いスカート、スカーフなどを利用して作品を創り上げ、プレゼントするためにパッケージ(包装)を使って贈れるように工夫してある。

次が中級コースで表地の裁断方法、素材に応じた縫い方など延べ八時間の講習で、教材費も含めて一万五千元。これを修得して合格すると、助講師の資格が得られ、講師として活躍できる。

上級コースは二万四千元。勿論これに見合った教材がついて、より高度な広範囲の技術、ネクタイに関するさまざまな知識を修得したあと課題作品(オリジナル)と学科テスト(製図、色彩学など)の試験があり、はじめて正講師の認定を受けて、支部・分室が持てるようになる。

この他に別科としての染色コース(一万八千五百円)は完全なオリジナルネクタイを作るための染めの勉強。正講師として教える場合には必要だと思われる。

どのコースを終了してもそれぞれの資格で協会の会員になることができ、教材入手価格の割引が受けられるし、制作したネ

クタイを本部に買い上げてもらうと、その作品は全国の西武系デパートの「ル・ポール ショップ」で販売される。もちろん、支部や分室での独自の販売も自由だ。

問いから生まれる

この手づくりネクタイを創り出したのはグラフィックデザイナーとして活躍し、現会長でもある猪股護氏。動機は四年前、デザイナーとしてはネクタイなんて簡単なものと思っていたら、ある時手作りが困難なほどく難しいものと聞かされた。これは何

かあるぞと、頼んで作ってもらったネクタイをほどこいて細かく研究し、自らも作って友人知人にしめてもらって検討した結果、手作り可能とわかった。丁度オイルショックの世相で手作りが見直されて来た時でもあり、組み合わせたパーツ(初級セット)が反響を呼び、今日に至ったそう。現在ではあらゆるメーカーはもちろん、外国ブランドも含めて分析研究し、その中で一番適切な作り方を会員に示しているつもり、といわれる。

「男性は女性のこと考えている時が一番楽しいし、女性だって男性を考えて作っている時は楽しい。女性が自分の好みで選んでは男性はしめてくれない。男性社会で色彩を理解して良い作品を作り上げていくよう、時間をかけて指導しています」

センスの良さは若い人だけのものではなく三、四十代でも、おやつと驚くほどの作品が生まれていると聞く。消費者だった主婦がメーカーになって販売できる、魅力のあるシステムである。

(原田静枝)



イギリスとの出会い④ 早川裕子



価値観の相違

こうして私は、イギリスで暮した三年半の間に、折にふれて異なった文化に出会い、さまざまな感慨を数知れず得たように思いますが、中でも一番大きなことは、私が日本で暮した三十五年間に、知らず知らずのうちにちかわれて持っていた価値感が、地球の裏側の国では、ガラリとひっくり返されることがしばしばあったことでした。

日本では、美人の条件といえば、色白で中高でつぶらな瞳ということになっているようですが、西洋では違うのです。

あちらの人々は、色の白いことを恥じて、小麦色の肌に憧れ、少しの太陽にも肌を焼こうと、すぐ裸になって庭に寝そべり、左隣のバーバラなどは、「あなたはいいわねえ。焼かなくてもすんで……」などと私のことを羨しがり、ホリデーから黒くなって帰ると、「これであなたと同じ位になったかしら」といいながら、私の腕と色々に来たりしたものでした。実際、イギリスの女性と色々話してみると、彼女達が肌を焼きたがるのは、単に健康のためとか、お金持にみせたいから、というよりも、色が白いのが恥ずかしく、黒人はちょっと黒すぎるけれども、日本人位の小麦色の肌が、一番素適だと思っている人が多いことが、わかりました。

ちょっと話は脇道にそれますが、「裸」といえば、裸に対する日英の習慣とか、感じ方の違いについて、お隣の主婦バーバラと話し合ったことがあるのを、思い出しました。

一九七六年の夏、猛暑がヨーロッパを襲って暑さに慣れないイギリス紳士淑女をすっかり狼狽させた時のことです。猛暑といっても、摂氏でいえば三十〜三十二度位のもので、日本人には朝飯前という感じなのですが、そこは、住宅がすべて冬向きで窓も小さく、普段の夏はクーラーも扇風機も必要ないイギリスのこと、近所の主婦達はお料理をやめて、庭で缶詰や果物の夕食をとり、長髪青年はお下げに結って歩き、魚屋さんは、ショウウインドウには魚の名前を書いたカードだけ並べ、「実物は奥の冷蔵庫に入っています」との看板を立てるなど、珍妙な光景が続出しました。

ただでさえ脱ぎっぶりのよいイギリス人のことですから当然、至る所裸同然の男女の姿に出くわして、目のやり場に困りましたし、近所の奥さん連中も、ビキニ姿で家事をしたり、お客と応待したりしていて、日本女性たる私はビククリ仰天でした。

「こんなに平気で、人前に裸姿を出せるこの国の人達の羞恥心の欠如には、全くオドロキだわ」

と私が話すと、バーバラ曰く、

「でも聞く所によると、日本では夜遅く、テレビですごい裸の女性の番組をやっていて、男達が喜んで見てい

るそうじゃない？ この国みたいに、昼間見られないからじゃないの？」ですって。

これには、そうすると、イギリス的方法の方が、より健全ってことになるのかなあ、なんて、考えさせられたりしたものです。

ちなみに、彼女によれば、ビキニ姿で掃除をしていた時、玄関のプザーが鳴り、一応ドアを細目に開けてのぞいてみたら男性だったので、「すみません、こんな格好で……」と、一応ことわったら、「ネヴァーマインド・ヴェリナイス」という答が返って来たそうです。

さて、話を元に戻して、日本人が憧れる高い鼻についても、あちらでは不評で、日本の子供のことを、「お鼻がフラットで可愛い」といわれた時は、一瞬、賞められたのか、けなされたのか、わからない気持でしたが、よく見ると相手は大真面目で賞めているのでした。彼等にとって東洋人の子供は、私達が西洋人の子供を心から思うのと同様に、「お人形のように可愛い」と、思えるのだそうです。

また、つぶらな丸い目なんぞも、西洋人にとっては、単にごくありふれた、普通の目でしかなく、細く、つり上ったような東洋人の目が、何とも神秘的で魅力があると、あるパーティーで中年のおじさんが、自分の両眼を吊り上げながら、さかんに賞め讃え、日本では、美人の範疇からは程遠い筈の私の顔も、所を変えれば、憧れの的になったりするのでした。オーストリアでは、東洋人

の目に似せようと、目をつり上げさせるための薬品（化粧品）が売り出されて、新聞に出ていたと、オーストリア人の友達が言っておりました。

こんな卑近な例を一つ挙げて、一つの国で作り上げている価値観というものが、いかにあてにならないものであり、別の国では逆転してしまうことがあるかがわかり、私達は、一つの尺度でダメだからといって、決して悲観することはないんだと、大らかな気持ちになれるではありませんか。

日本では、大学への進学率も、その時その時の社会情勢、つまりもっと具体的に言えば、どの学部が最も就職率が良いかとか、どんな職種が一番お金がもうかり、食いはぐれがないか、ということによって決まるようで、好況になれば理科系に受験生が殺到し、不況になれば文科系に押し寄せるといふ風に、世の中の価値観がそのときの社会情勢や経済状況によって移り変わり、それをまた受験生やその親の心理が如実に反映しているという事実を、私はここ二十年位の推移によって見てきました。

ところがイギリスでは、ずっと昔から変わらずに、単なる技術よりも、はるかに大切な“人間”を育てる教師や牧師を育成する文科系の方を重要視する風潮があります。

このこと一つで端的に表しているように、結局日本では、人間よりもお金、イギリスでは、お金より人間、と考えられているようで、この根本的な価値観の相違が、現在日本で問題になっている、国民が困りながらも直せ

ないこと、例えば、汚職とか、金権選挙とか、受験地獄とかを、生み出しているように思えます。

イギリスの学校の先生達も、クリスマスマスにはプレゼントをもらいますが、それは、父母からではなく、直接生徒達から、子供のお小遣いで買える程度のもので、例えばチョコレートの小箱とか、ハンカチとか、ちょっとした装飾品とか、そんなほほえましいものばかりで、クリスマスに近いウィンター・タームの最後の日、担任の先生は、こんなかわいらしい贈り物に埋まって、とてもハッピーなのです。我が国で、お中元やお歳暮のシーズンになると、すさまじい商戦が繰り広げられるのを見るにつけても、遠い国のそんなほほえましく爽やかな情景が、懐しく思い出されます。

緑と花の多い街並を通り、至る所にあるのでいつ行っても人影もまばらな、広々とした美しい公園を歩き、無料なので何度でも入れる美術館や博物館にただずんでいると、この国で人間が大事にされているということが、肌で感じられてきます。

最近、日本との比較の上でやかましくいわれている住宅事情の良さも、山の多い日本にひきかえ平地に恵まれ人口密度も半分位だという外的条件もさることながら、この、人間が大切だという価値感に守られていることなのでしょう。私の夫が、渡英前に買った土地のことを職場の英人同僚に話すと、さんざん首をひねっていた挙句、「ミスター・ハヤカワ、失礼だがそれは換算の計算間違

いではないか？ どう考えても、その広さは我家の前庭だけの広さと同じだ」と彼にいわれて計算し直しても合っているんだそうです。更に値段をきかれて話すと、再び考え込んでからやおら、

「ミスター・ハヤカワ、いくら何でもこれではあまりに高すぎる、これは家もついでに値段ではないのか？」

「いや、土地だけだ」

「じゃ、失礼だが、これも計算違いではないだろうか？」

何度やっても計算が合っていることがわかったとき、夫はすっかり気分を悪くして、

「もう今後、二度と君とはこの話をしないことにする」人間を大切にする政治が行われるとき、国民の間にも自分と同様、他人も大切にしていく思想が生れるのでしよう。

ロンドンで、パーキングメーターに車を止めようとした時、その一つ前のメーターから出ようとしていた人がわざわざ車から降りてきて私に、「ここはまだ三十分ぶん残っているから、こちらにとめたら？」と言ってくれた、人なつっこい笑顔を思い出す時、世界に誇るイギリス人のユーモアは、こういう心のゆとりから生れるんだなという実感を持ちます。

もう一つ、夫の職場での話にこんながあります。

割合仕事ぶりの良い現地人スタッフに、もう少し複雑な仕事と良い待遇を与えてあげようとして、

「どうだ、今度こういう試験を受けてみないか。受かれ

ば少しポストも良くなるし、給料も上がるのだが……」と、日本人ならとびつきそうな話をもちかけると、

「たのむから、そういう提案はしないでくれ。僕は今の仕事で十分満足しているし、お金だってこのままでも充分幸せに、家族共々暮らしていける。これ以上忙しい思いをして稼ごうとは思わない」

とことわられて、啞然としたそうです。

イギリス人の名譽のためにも、管理職にある人達など本当によく働く人々もいることはつけ加えねばなりません、これなどは、イギリス人の、幸せはお金や地位にあるのではない、という考え方の最も顕著な例で、ある統計によれば、日本人の平均年間所得は、イギリス人より二十万円多いにもかかわらず、自分が今幸福だと思う人はイギリス人の92%に対し、日本人は66%だという事実と併せて考えると、興味深いものがあります。

次々とストライキに明け暮れ、重症のイギリス病にあっていいる、老大国英国、こんな国から、我々経済大国日本が学べるものはなくなつたといわれている時渡英した私は、しかし、私達が見失っていた、人間として忘れてはならない大切なものを、この病める国に見出して、帰ることができました。

「何といっても、この世の中、我々人間が、主役なんだよ」と、物柔らかな病氣のおじいさんに訓されたような気がします。

(完)



小荷物を安く運ぶには

男女共修

ついせんだって、家を建て直すのでいらなくなつた、まだ新しい純毛の八帖じきじゅうたんをゆずつてあげようという話が編集部に舞いこみました。大喜びはしたものの、はたと困つたのが運送の問題。乗用車にはうまく積みこめず、結局たつた一本のじゅうたんを二軒の距離を運ぶために、近所の運送屋さんから四トン車一台をまわしてもらはめになったのですが、同じような経験をお持ちの方は、意外に多いのではないのでしょうか。

運転免許人口四千万人といわれるマイカー時代ですが、食堂のテーブルでも、肘のある椅子でも、小型の冷蔵庫でも、ちょっとしたかさばるものはほとんどふつうの車で運べません。

わいふ150号の家庭科で紹介した交換情報に、「街の便利やさん、荷物のことなら

赤帽タクシー」と、不用品の運送でも何でも引き受ける小荷物運送の広告がでていました。それによると、十軒までの基本料金が、荷扱い料を含めて千六百円。五十軒までは一軒あたり百二十円、百軒まで百円、それ以上は九十円、とびっくりするほど安いのです。

ほんとに広告に偽りなし、なのでしょう。か。丁度麻布からドレッサーとデスク、世田谷の松原から特大のダブルベッドを一つ運ぶついであつたので、早速試してみることにしました。

まず手はじめに、近所のS運送店と、電話帳で手当り次第みつけたもう一店に、麻布―新宿間のドレッサーとデスクの運送のみつもりをきいてみました。何と二軒とも申し合わせたように、「ま、一万五千円ぐらいだねー」というのです。

ふつうの引越では、運転手に助手一人がついて、東京から約百軒かかるところに、三トン車いっぱいの引越荷物を送つても約四万円が相場というのに、十軒としない麻布―新宿間が一万五千円！ まったく呆然とするほど、割高です。

これが赤帽タクシーの広告通りなら、十

料未満なら千六百円、荷扱いの超過料金をふくめても二千円ですむはず。

赤帽タクシの本部に電話して、編集部に近い新宿の赤帽店の連絡先を教えてもらい、まず麻布の荷物を運んでもらうことにしてみました。電話の取次ぎに出たのは小学校高学年らしい男の子で、家族ぐるみの営業、というかんじです。

当日、朝のうちに確認の電話が入り、午後になって、指定の二時には遅れそうだと再度電話が入り、待つこと一時間半。「赤帽」と大書した軽トラックが、無事荷物をつんでやってきました。カーラジオでモツアルトのシンフォニーをかけながら現れた運転手さんです。引出の六つもついたドレッサーは殊のほか重いのですが、一人で運びこんでくれ、品扱いも慎重でした。

さて料金はなんと、基本料プラス時間オーバーの荷扱い料プラス貴重品扱い料（見た目の大変きれいな家具でした）しめて二千六百円なり！

世田谷の松原からダブルベッドを運んだ時は、世田谷の地元の赤帽運送を頼んでみました。この場合は先方への連絡の不備で、現場で十五分ばかり待たせてしまった

ためか、距離でなく時間料金。一時間千六百円なりの二倍、三千二百円を請求されましたが、安いことに変わりはありません。

赤帽タクシの料金システムは、こんなふうに距離と時間の二つに分かれているのですが、どちらの計算をとるか、やはり現場の運転手さんの胸三寸にあるようです。

何といっても格安のねだんなので、時間がかかれば時間、距離がかかれば距離と、高いほうにあわせて料金が決まることは覚悟しておいたほうがいいでしょう。

赤帽タクシは、全国協同組合で、全国各地に散在する運送店の連合体という形式を取っています。東京都内でしたら本部にでんわすれば、依頼者にとって便利な地域の赤帽タクシの連絡先を教えてください。が、地方でも青森県から鹿児島県まで、全国で三千五百台の赤帽タクシが活躍しています。

さきほど述べたように、料金は二系列にわかれています。時間料金は、つみおろしに時間のかかる引越とか、小さな品物を何ヶ所にも配達するときに適用されることが多いとのこと。一時間以内で千六百円。三十分の超過ごとに八百円加算。荷待料金は

三十分毎に五百円。

引越はとくに手がかかるためか二割まし、深夜、早朝料金は三割まし。（午後十時—朝五時まで）貴重品も二—四割まし。

問題はトラックのサイズです。こんなに料金が安いのも、やはり軽自動車というメリットからきているので、そのぶん、積みこむスペースも限られています。

ライトバンは幅一二センチ、高さ一二センチ、奥行一七〇センチ。パネルバンは幅一二九センチ、高さ一二〇、奥行一八九センチ。トラックが一番大きくて幅一三三、高さ一六五、奥行二〇〇センチです。

その他保冷車、冷凍車もあって、料金は四割ましとのこと。

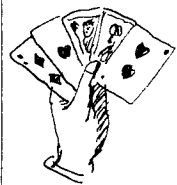
最近のガソリンの値上げで、タクシの値上げが既に行なわれたいま、赤帽タクシの料金もいつまでも据えおきということは考えられませんが、それにしても、一寸した品物の運送には、ふつうの運送屋さんを頼むより、はるかに経済的であることは確実です。

連絡先 全国赤帽軽自動車運送協同組合

代表〇三—六四三—四五五五

（まとめ 田中喜美子）

離婚のしかた教えます



連載ルポルタージュ ④

— 母子福祉 —

和田好子

ラビッシュ
迷路を出よう

だいたい、冷静沈着に離婚するなどということは、困難であるに相違ない。

この夏、都下のある福祉事務所に訪ねた母子相談担当の主事（女性）さんは、「夫と仲が悪い、離婚したら母子家庭は、福祉でいくもらえるでしょう」というような相談がずいぶんありますが、いろいろな事情を聞けば、ひどく気持がぐらついている場合が多くて、自分で判断がつかず、私に判断してもらいたいんですね……」

と言っていた。

私もその経験があるが、離婚しようかしまいか、などという相談に応ずると、ふりまわされることが多い。当事者が今日決心

したことを明日ひっくり返し、昨日白といつたことを今日は黒という。まじめに相手になって心配すると、裏切られたみたいない結果になりがちである。

それほど夫婦の間には、他人のわからない部分があるということだろうし、何年かの結婚生活を解消するとなれば、なかなかスッパリとは割り切れないということでもあるだろう。

もうダメだろうか……イヤまだ何とかなのでは……？ 迷いに迷う女心は、やはり社会的な立場のよわさの反映なのだ。

幼い子があれば、離婚して明日からどうして食べていこう？

今日明日食べるお金は手許にあって、将来どうなるであろう？

子どもを抱えて二度と結婚はむずかしい

のではないか、すべての喜びも楽しみも、生涯に再びめぐって来ないのではないだろうか？、心配は限りがない。

こうして、例の主事さんにいわせれば、「で、結局どうしたいのか？ どうしても判断がつかなくて、フラフラ、フラフラしているばかり」

という、ハタから見れば歯がゆくて、シッカリしろと背中をどやしたくなるような状態が長く続くことになる。

それはまことに無理のないことではあるが、喧嘩は怒ったほうが負けというではないか。離婚を考えるなら、冷静沈着に！

再びかの主事さんの言葉を引けば、「離婚で、つまり自立なのですよ。自分で判断できなくて、自立ができませんか」ということなのだ。

離婚は自立である……離婚すれば、「主人に相談したしましてから」というわけにはいかない。「それは彼に任せてあるわ」ともいえず、「ねえあなた、どうしましゅう」ともいえない。

自立とはまず自ら判断することなのだ、ひとしきり囲り中に相談し回り、迷いぬいたら思い切って迷路を飛び出して欲しい。冷静に情勢判断をしなくてはいけない。くよくよ泣いているうちに、相手に一刀両断にされて、放り出されるといふのはもっともまずい離婚のしかただろう。

どこで見切りをつけるか、その判断のデータとして、母子福祉についていささか調べてみた。

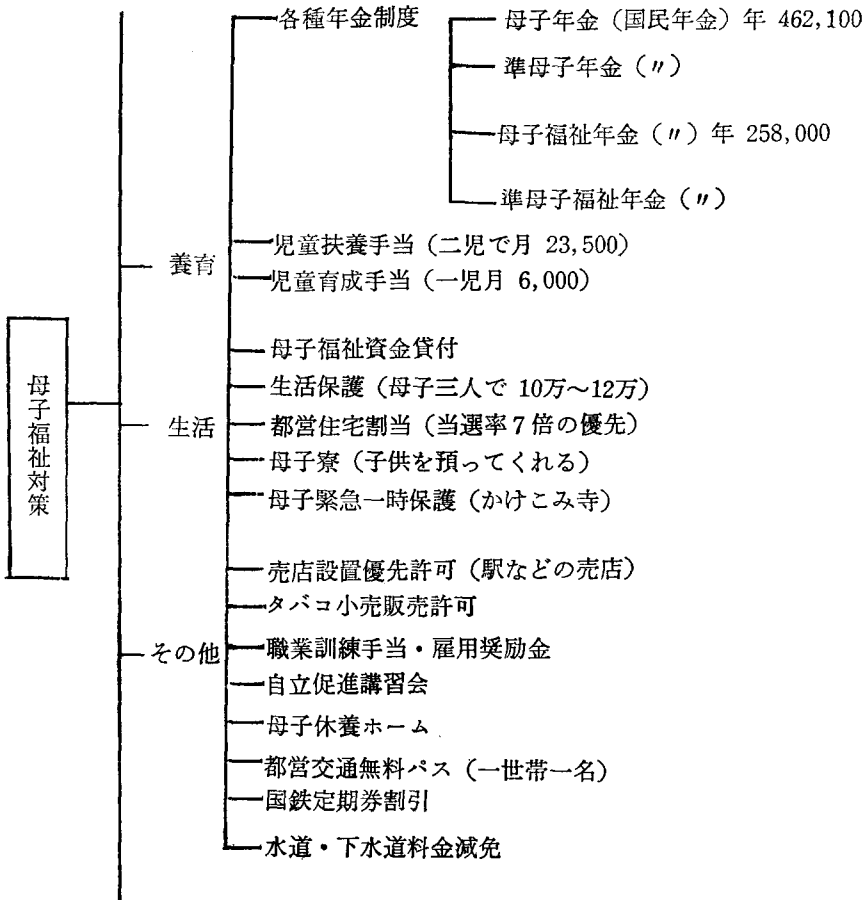
人間は衣食住にある程度の保障があつてはじめて落ち着いてものを考えられるのだから……。

下表をごらん願いたい。

だいたいこれだけが、現在の母子福祉対策である。

ずいぶんあるわね……ヘエ、都営交通無料パスももらえるの？

という声とともに、でも所得制限があつてたいい受けられないようになってるん



じゃない？ という声も聞こえそうであるが、所得制限の線はかなり高い。まずふつうの女が働いたくらいで、越えることはない。

子供と住居は安上り

例の主事さん曰く、

「私でも受けられますよ、たいていは」一例をあげれば、扶養親族五人で、年取四七九万円まで、児童扶養手当が受けられる。但し、離婚の場合は年金はだめである。すべて死別の場合に限られる。

そこで不公平ではないかと当然ながら文句が出て、設けられたのが児童扶養手当であり、こっちは年金を受けていれば受けられないようになっていく。母子年金のほうが高額だが、これは拠出制、掛金をおさめてないためで、掛金なしの福祉年金はほとんど同額だ。

しかし年金はいろいろ条件がうるさいようで、もし受けられなければ、死別でも児童扶養手当ということになる。

児童育成手当とあわせると、子供二人で一カ月約三・五万円だ。

母親が頑張って働いて何とか月十万円、合せて十三万五千元。

これで貸しマンションや民営アパートの、高い家賃を払ってはやっていかれない。しかし住宅も表のとおり援助がある。

都の住宅局管理部募集課の話によると、都営住宅には母子家庭優先制度があり、一般の七倍、当選の倍率を高くしているという。

都営住宅は、空家、新築、及び抽選によらないポイント公募というのがあって、新築とポイントに優遇措置がもうけられているが、空家も母子世帯向きという別枠がとってあって、同じことだそう。

また、母子アパートというのも建てていて、これは保育園がついており、四帖半に三帖、台所は立つだけ、というせまきながら、小さな子を抱えた人には便利だという。

一般の都営住宅となれば、古いものは六帖に台所というのものもあるけれども、近頃は3LDKまであり、家賃は母子アパートで千五百円、最新の一番高いので三万六千円、このクラスになればりっぱなもので、高層マンション式のものもある。

それでいて家賃は公団などに比べてぐっ

と安く、所得制限があるといっても、女の細腕ではまず引っこからないから、よりどり見どりというものである。

どうしても交通便利なところは入りにくい、場所さえせまく限定しなければ、母子家庭の入居はかなり容易だという答えであった。

保育園は、母子家庭で母親が働きに出れば、最優先で預かってくれ、保育料も生活保護世帯と住民税非課税世帯は無料であるから、繰り返すようだが女の細腕ならたいした額とはとられるはずがない。

子の扶養と住宅がぐっと安くすむことになるので、十万円の収入でもけっしてやっていけなくはないと思われる。

生活保護は自立のため

子どもが小さすぎてフルタイムで働けないなど、不利な事情があって、収入が児童扶養手当を合わせても、十万円に満たないということになれば、生活保護も考えるべきだ。

左表にあるとおり、東京など一級地では支給される額は十万円を越える。

そこで一、二歳の子を二人も抱えている場合なら、保護を受けてしばらく子育てに専念するとか、母子アパートに入り、職業訓練手当などを受けて、自立の準備をするのもよいだろう。

ただし生活保護は、他の収入——それは働いて得たものでも、児童扶養手当のようなものでも——があれば、それだけ差し引かれてしまうから、働くことができれば働いたほうが有利である。

例の女性主事さんは、「離婚は自立である」と喝破してから、

「働く努力をしないどころか、最初から働くことを考えつきもしない。離婚して夫の扶養が受けられなくなれば、公的扶養を受けよう、つまり扶養者を乗りかえるつもりの女性がいる。これはあまりにも自立心がないのでは……」といていた。

再婚というのではなく、若干の援助に与られるのか、せつかく働き出したのに、身売るようにして男と関係を持つ人もしばしばあるという。

社会的に差別され、不利な条件のもとに置かれているのだから、女の依頼心が強くなるのはむりもないけれども、依頼心とセ

ックスが結び付くと、結婚も恋愛も売春と紙一重になってくる。

こうした意識で生活保護を受けたりすれば、無気力におちいって自立が遅れるおそれは十分あり、よく将来の計画を立てた上で、一時期利用すべきものだろう。

“わいふ”一五一号の「手探りの自立」に登場した図書セールのK・Mさんは、離婚ではなく死別であるが、母子家庭になって一時生活保護を受けたことがある。

彼女の体験によると、手続きはべつにむずかしいという。

今は人権問題がやかましくなっている中で、申請を受けた福祉事務所が調査をする際——保護は民生委員と地区担当の社会福祉士の調査をまわって決定されるのである——立ち入り調査といって、隣近所中を根掘り葉掘り聞きまわるなどということは、東京では少なくなった。

しかし旧態依然とした地方では、民生委員が地域ボスであったりして、人権侵害といえそうなやり方をするところもあるらしい。

また死別と生別では扱いが違う。死別に対しては文句なく同情的だが、離婚となる

となんといってもまだ偏見で見られるところがあるようです、とK・Mさんはいう。彼女は長患いの果て夫に死なれ、看病疲れて一年ほどぼうぜんとして過ごした。その間保護を受けたわけであるが、もしいきなり働いていたら、健康を害したかも知れない。保護を受けるのが適切な場合といえる。

離婚したが乳飲み子を抱え、もう一人幼児もいる、破綻した結婚生活の苦しみと、あげくの離婚騒動で、身心ともに疲れ果て

(53. 4. 1)

母子3人(世帯4歳女)			
52年度(当初)		53年度	
1級地	3級地	1級地	3級地
70,583円 (母子加算) 13,610	57,885円 (母子加算) 13,610	78,430円 (母子加算) 15,120	64,316円 (母子加算) 15,120
1,190 (24,900) 9,000	1,190 (18,800) 5,000	1,280 (29,200) 9,000	1,280 (21,800) 5,000
— (110,283) 94,383	— (91,485) 77,685	— (124,030) 103,830	— (102,516) 85,716

ているようなとき、あせって働きに出て病気になるのはたいへんである。保護を受けて休養するのもたいせつな自立への一段階であろう。

生活保護法には、「最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的とする」とうたわれているのだ。

サテ一時の休養も終えていよいよ働き出せば、収入があっただけ引かれるにしても十万〜十二万は保障されるわけである。それを越えてはじめて保護を打ち切られることになるのだから、どのみちその程度の収入は得られるわけだ。

表一にのっているさまざまな公的援助を活用して、ともかくも生きていける線ではあるだろう。

あとは本人の気力、自立の気概の問題であって、三・五万の児童扶養手当にプラスする自分の所得を少しでもふやすことができるれば、それだけ生活は楽になるわけである。

貸付金活用法

左表を見ていただきたい。

これは母子家庭を対象とした福祉貸付金である。（資金は国と都道府県から出る）

中年に及んだ女が、定職につくことの困難さと思えば、小規模な事業をと考えてみるのもよいと思う。給料のきまつた勤めと違って、このほうは将来の夢も描ける。

事業開始資金百二十万円、継続資金六十万円では、たいしたことはできるはずはないが、小を積んで大を成すつもりで工夫してみてはどうだろう。

「わいふ」一五九号の「手探りの自立」で、取材に応じてくださった十返喜世子さんは、離婚後この資金を借りて、公文式数学教室を開いた。

彼女の体験を聞いてみよう。

「技能習得資金というのは、わたし借りませんでした。

額が小さいですから……一万ぐらいではどこかへ消えてしまつて、負債だけ残るという形になりかねないと思つて。職業訓練所へ入るという場合は、すぐに貸してくれるそうですし、利用すべきでしょうけれど。

わたしは体を悪くして、それまでの勤めをやめて、四カ月余り無職でした。経済的にはほんとに行き詰つていたんですよ。

それまでの会社勤めのこと、将来のこと、子供の教育、いろいろ考え合わせましてね、

ちやうど子供が上二人は思春期ですし、しばらく家にいてやりたい、外へ出ないでできる仕事ということで、この教室を思い立つたのです。

で、とにかく余裕がありませんから、資金が下りるのを待つていられなくて、教室の家賃を借金して始めてしまいました。エエ、資金が下りるまで、待つてもらつたわけ。ところがなかなか借りられなくて。

ふつうは二カ月半くらいで下りるそうですが、半年もかかったんですよ。

それは条件が合わなかったといひまじょうか……ほんとにその事業が、成功する見通しがあるかという問題ですね。学習塾は今たくさんありますから、大丈夫だろうかとお役所が心配したのです。

（都民生局で出している貸付案内に「事業計画等が具体的かつ實際的でなく、貸付の目的を達成することが困難とみられるときには、お貸しできないこともあります」とある）

でも何だつて、成功するとは限らないじゃないませんか。心配していったら、わたしのほうがよっぽど心配ですよ、お役人よりも。おでんやか、おにぎり屋とかいう

母子福祉貸付金一覧表

(53年6月現在)

	貸付対象	貸付金の限度額	据置期間	償還期間(据置期間経過後)	利 率
事業開始資金	母子家庭の母 母子福祉団体	個人 120万円 団体 200万円	貸付けの日から1年間	7年以内	個人年3% 団体年5%
事業継続資金	母子家庭の母 母子福祉団体	個人 60万円 団体 70万円	貸付けの日から6カ月間	3年6箇月以内	〃
修学資金	母子家庭の児童 父母のない児童	高校月額 8,000円 (特別10,000円) 大学、高専月額 17,000円 (特別18,000円)	卒業後6カ月間	20年以内	無利子
技能習得資金	母子家庭の母	月 額 10,000円	知識技能修得期間満了後 6カ月間	10年以内	年3%
修業資金	母子家庭の児童 父母のない児童	月 額 10,000円	〃	5年以内	年3%厚生大臣が定めるもの 無利子
就職支度資金	母子家庭の母又は 児童、父母のない児童	55,000円	貸付けの日から1年間	〃	年3%
療養資金	母子家庭の母又は 児童	10万円 (特別 15万円)	医療を受ける期間満了後 6カ月間	〃	〃
生活資金	母子家庭の母	月 額 54,000円	技能修得資金若しくは療 養資金と同じ。	技能習得資金 10年以内 療養資金 5 〃	〃
住宅資金	母子家庭の母	90万円	貸付けの日から6カ月間	6年以内	〃
転宅資金	母子家庭の母	45,000円	〃	3年以内	〃
就学支度資金	父母のない児童 母子家庭の児童	55,000円	修学後又は修業後6カ月間	修学……20年以内 修業……5 〃	無利子
結婚資金	20歳以上の子を 扶養している寡婦	12万円	貸付けの日から6カ月間	5年以内	年3%

厚生省児童家庭局調べ

(注) 結婚資金は、寡婦福祉資金のみ。

と、わりと通りやすいと聞きました。塾なんて、キレイごとの商売で、母子家庭にはふさわしくないと見られる面があるようです。商売何でも同じだと思うのですけれど。

そこでごたついた上に、すでに始めてしまっていたでしょう、それでは継続資金しか貸せないといわれてしまつて。

事業開始後の扱いになるというわけなんです、それでは六十万しか出ない。開始資金の半額ですから、もうまったく困つてしまつて、とにかく一生けんめい実情を訴えてお願いするほかありませんでした。

わたしの場合、子供が三人おりますし、上二人が中学生、思春期、受験というむずかしい時期で、どうしても家にしばらくいてやりたいのです、と、いろんな事情を話しまして、ようやく下りることになりました。ところが保証人に困つて……わたしのきょうだいもおりますが、関西に住んでいるので資格がありません。(保証人は「引き続き都内に六カ月以上住所を有し」ていなければならぬ)

止むを得ず別れた夫に頼み、いろいろ不愉快なこともありましたが、保証してもら

いました。

ようやく家賃を払つて、ごらんのとおりやつておりますけれど……。

それから、わたしは以前に、どうにも困つたとき、たしか母子応急小口資金とかいふたと思いますが、五万円お借りしたことがあります。

母子家庭の場合、福祉事務所にいくと貸してくださるんです。返すのは十回月賦でした。ええ、児童扶養手当はもちろんいただいています」

十返さんの話は以上のようなものである。さらに彼女は借り方心得として、各政党の議員に相談すると、話が早いということとがたしかにある。しかしそれは、役所のほうから見れば圧力を受けたことになるので、心証を悪くするおそれがあり、母子家庭はのちのちいろんなことで、役所と交渉を持つ場合が多いだろうから、かるがるしく議員など頼まないほうがよい。それより自分で行つて、よく事情を話すべきです、ということだった。

彼女は四カ月の失職中、生活保護の申請をしたがこれはダメだった。調査の結果、むりですといわれたという

のだが、理由は、彼女が新宿区の高級住宅地のマンションに住んでいる、ということが主であつたらしい。もしそこを出て、都営住宅に入る決心をしていたら、もらえたかも知れないのだが、十返さんは抵抗した。

彼女は、三人の子供たちの生活環境をおとしたくないという考えであつた。

「ぜいたくだといわれた」ということが、これは役所のいう方にたしかに理はある。しかし十返さんの向上心にも理はあると私は思う。

夫と家庭を持っていたころの生活の雰囲気、子供たちのために維持しようとし、そのため必死の努力をするというのは、すばらしい自立志向である。彼女は言う。

「やれる間はこの方針で頑張りますが、もちろんやれなくなれば、どんなことでもする覚悟はあるし、子供にも納得させます」生活環境を落したくないのは、虚栄でも昔の夢を追うのでもないのだ。

このような自立志向あつてこそ、母子福祉は前向きな役割を果し得ると思われる。離婚は自立であるのだ。



おしゃべり



No.160



「まさ」だらけ

千葉県茂原市 米良恭子

わが家の近所は「まさ」だらけなんですヨ。よくもまあと感心する程、勢ぞろいしています。

まず筆頭にウチの息子が「まさひで」「まさふみ」。前の家には「まさお」「まさじ」つい最近生まれた赤ちゃんも「まさあき」で仲間入り。斜め前の家には「まさなお」。後の家には「まさゆき」。おまけに「めら まさひろ」と

ウチの子と一字違いの子までいるのです。親友が出産間近になったので、「まさ」という字のつく名前にはしないでネ」と念を押しました。「だいじょうぶ、だいすけと決めてあるから」と言うので安心していたのです。が……

「あのー、まさゆきって名前にしたの」というではありませんか！ 彼女のお兄さんの子どもも、「まさよ」なのに。われわれ夫婦も、そろそろ三人目をと考え中。主人ときたら、まだお腹に赤ちゃんがいるわけでもないのに、もうあれこれと名前を考え喜んでいるのはいいのです。ところが、またしても「まさ」のつく名前ばかりで、子ども三人「まさ」（雅）で統一する、などと言いつけるのです。いくら雅の字が好きだからって……。冗談ではありませんヨ、と早くもモメているんです。

こんなに大勢「まさ」がいて、全員違う字と
いうのも面白いですね。

子ども達、みーんなに幸多かれ！

諦めの心境

東京都北区 渡辺みよ子

先日姉に、十一月末に奈良・京都の二泊三日の団体旅行に誘われたのに、断わってしまいました。

行きたいのはやまやまですし、忙しいとか費用の点は何とかやりくりできますが、理由は本当に恥かしいのですけれど、トイレが心配なんです。

気にし出すともうたいへん、景色どころか居ても立つてもいられなくなるし、おとし姉と一しょに四国の金比羅様に行った時もさんざんでした。姉にはよけいな心配をかけ通しなのに、家に帰ったとたんにケロリと直ってしまいます。

五年ほど前に長女と団体旅行でハワイに行った時も、出発まぎわになるとトイレに行きたくなり、実際に下痢症状になります。ですから旅行中はほとんど食べないので、楽しさも半減。妹の子のH子は、やれヨーロッパだ東南アジアだと出かれます。

そして曰く、「年取った人はむりね、旅行は体力のある若いうちに限る」私は羨ましいのを

通り越しもう諦めています。

離婚の悲しみ

匿名

私は昨年六月に結婚し、つい最近離婚してしまいました。今はもう主婦ではありません。

また一人の気儘な生活を始めていますが、以前一人で生活していたような楽しさは味わえません。かなり気丈な私ではありませんでしたが、ただ毎日が離れたことの辛さで泣いていました。

私は以前キーパンチャーとして働いていましたので、やはり今はその仕事をしていません。

別れた主人には女の子がいて、その子供は私の従姉の生んだ子だったわけですが、かなり我儘な私には、自分の子供として認めるわけにもいかず、とても嫌になりだしたのは結婚後間もなくのことです。

私は常に離婚したいと思っていたし、主人にもそのように言いました。主人はとにかく我慢して欲しく、彼なりに努力したのです。生理が始まる前あたりから、段々エスカレートするばかり、そんな私に彼がさじを投げかけてきた矢先だったのです。

原因は子供がその日かけたばかりのシートに鼻血をつけてしまった。洋服も園のを借りてきた。その時私は、もうめんどくさい、私、明

日保育園へ連れて行かないわよ。

その一言で、主人は、じゃあ実家へ連れていく、姉さんに連れて行ってもらう、ということになりました。私はこの子鼻血をよく出すけれど、従姉も心臓弱かったし、子供もどこか悪いんじゃないか、それだったら私の一生のお荷物になる。嫌だなと常日頃から思っていたのです。

子供は小さいころは鼻血を出しても、別に平気だといいますが、少し異常だったと思います。

それに私は神経質すぎるくらい、きちんとしてないと嫌でした。

とても素直でいい子でしたが、しかし私には母はわりでした。お母さんと呼んでくれましたが、私には大きな負担でした。

実に悪い母でした。主人もこんな思いするのなら、離れたいといっていました。

そして離れて始めて私は、家庭のありがたさに気づきました。こんなに後悔するのは、心して尽してあげなかったからでしょう。

今でも主人のこと、いとおしく思います。しかしもうどうにもならないことです。

私は自分の道をすっかり整理して、また歩き始めようと思います。今度の件は私が一番いけなかったようですね。まだまだ心を整理していません。一ばん悲しいのは、こういう結果にな

っても、もう一度やり直したいと思っていること、こういう結果にならないと、自分が分らなかった馬鹿な自分自身です。

もっと早く分っていればと思い、口惜しさでいっぱいです。

私が思うに世の母親って偉大ですね。

私も手探りで

埼玉県深谷市 開田光子(30歳)

一五九号の米良さんの目下手探り中を拝読し、私と同じような方がいらっしゃる、とペンをとらずにはいられませんでした。

私も現在は、精神的かつ肉体的にも子育ての最中ですが、やがて肉体的に解放された時のために自分自身何かできるものを身につけておかねばと思い、書道の通信教育を続けてきました。核家族のため外に出ることは最初から諦め、家において生かせるものを条件に考えたのです。長女が一歳の頃には師範免許もいただけたのですが、ただ検定課題のみの練習だっただけにとても自信の持てるものではありませんでした。

あれから六年、その間に長男の誕生もあって思うように練習できず(実際は本人のやる気不足)ただあせりを感じるばかりでした。そしてもう一度やり直そうと去年新たに文部省認定の書道基礎科を受講し、この春修了しました。こ

の後には専攻科もあるのですが、どうしようか迷いに迷いながら今日に至っております。

いずれは開塾をと考えてはじめたこの道ですが、奥の深さに劣等感はずばかりです。でも、私ももう三十歳。今までの消極的な生き方にさよならして、もつと積極的に人生にアタックしていこうと心を新たにしています。初心貫徹、米良さんががんばりましょう。

「主人」に感じる抵抗」を読んで

神奈川県横須賀市 折笠和子

千葉の川名さんの「主人に感じる抵抗」を読んで、ああ世の中には同じに感じる人がいるのだなと嬉しくなった。

私は文章にするときは「夫が」と書くことにしている。「主人」なんて奴隷みたいで嫌だなと思っていた。私は誰が何と言おうと夫と妻は対等だと思っている人間だから。

親戚などごく親しい場合は「○○が」と名前を言う。夫は人に私のことを「ワイフが」といっている。でもやはり会社の人とか対外的には「主人が」と言ってしまうが、心の中では非常に抵抗を感じている。

それからPTAなどの委任状に保護者名を書くときは、ためらわず自分の名前を書く。実際に出席したり係わっているのは全て私であって夫ではないのだから。

また証券会社などから電話で「御主人いらっしゃいますか」と言うから「只今会社ですが」と答えると「それではまたお電話します」と用件を言わず切ってしまう。これなんか最高に頭に来る。証券会社の営業マン氏、女では話が判らないと思ってるらしい。なぜ「コレコレです」が一つ御主人様と相談なさって是非お願いします」と言えないのだろうか。

我が家では株も債券も夫の一存で売買したり預けたりしない。夫婦で相談して決める。例えば夫がいいと思っても私が反対したら駄目であるし、その反対もあり得る。至って民主的なのだ。(あたりまえだが)

先の証券マン氏、つまらないところで、主婦の自尊心を傷つけ、成る話もこわしたのを知らないのである。

世の中にこういうことが、何とも思わず見過されていく例が多いが、男性諸氏も頭を切替えていかなくては、いけないのでは？

きっかけを求めて

神奈川県 佐藤安子

「書きたい人、考えたい人——」の呼びかけにちょっぴり心を動かされている二五歳の主婦です。

結婚して丸四年、消防士の主人と二人で三人の子供を育てています。三歳の長男、一歳の長

女、四カ月の次女、将来は一年、二年、三年と学年の続く年子なのです。

周囲の人は「何もできなくて当然、この幼子三人を無事大きくするだけでたくさん」そう言ってくれます。

でも私の心は何か満たされません。毎日をもっと有意義に、子供達一人一人にもっと違った愛情のかけ方が？

何かをきっかけに今までの自分を変えてみたいのです。「わいふ」をその足場としてみたいのです。

母と共感

神奈川県秦野市 寺嶋礼子

「わいふ」を実家の母も少し読んで共感したようです。年代に関係なく考えていることは同じなんだナと、私にも新しい母の発見でした。

ありがとう「わいふ」

埼玉県三郷市 串田明美

「イギリスとの出会い」毎回興味深く拝見しています。この頃他人の子を叱る会というものがどこかにできたらしいけど、全く他人の子を叱るのにもそんな大看板がなければ堂々と叱れない日本の母親の現状、日本人にはそれなりに素晴らしいものもあるけれど、他国を眺めてなぜこうも違うのだろうと羨しく思うことも多く

あります。

欧米では宗教が生活や文化の基盤となっているのに日本ではとうに失われ、国の政策にそった教育がされると疑いも少なく狭い国土に淘汰されていってしまう島国の状況等、個人個人が自身で考えていくことこそ日本の将来がゆるやかに変わっていくことと思っています。だからいろいろ勉強をさせ考えさせてくれる「わいふ」に感謝しています。

古都に来て

三重県奈良市 中村みづ子

三月二十二日に古都奈良に越ししました。お手紙を書こうと思いながらまだ書けずにおります。こちらへ参り「わいふ」の価値が一段と高く感ぜられます。そのうち古寺散策記等書きたいと思っております。暑さに向いお体気をつけ下さり、ますます充実した「わいふ」を編集して下さることを期待しております。

「わいふ」への期待

東京都江戸川区 大関陽子

私、母の看板で二週間ほど埼玉県の方に行っておりまして昨日帰ってまいりました。主人から八日に「わいふ」が届いていると電話で知らされておりましたが、すぐに拝見できず残念。昨夜は溜った洗濯の合い間にページをめくりな

がら、「なるほど、なるほど」と納得したり、こういう考え方もあるのかと思いがら久しぶりに生き生きとした自分の時間をもつことができました。

家事と子供（五歳男子・二歳男子）の世話で自分がなんとなく世間からとり残され、考えることも表現する力もうすれ、ゆるゆると時の流れに乗って消えてしまいたいそうの中で、これから私は「わいふ」によって、その中から抜けだしていけそうな気がいたします。

次号が楽しみです。

妻を失くして二十五年

千葉県佐原市 小沢長太郎

妻を失くして二十五年、ながい一人暮らし、スーパーで買物をする時、私いつもきまった女の子にレジしてもらう。もし間違っていた時、顔なじみなら後で話しやすいと考えてだ。ふしぎなことに、まちがいをしない子は顔もキレイだ。十円、二十円ぐらいなら面倒だからだまっているが、百円とちがったら、こちらは収入の少ない老人、まあいいやでは済まされない。

まちがいをする子は何回もある。特売で値引しているのに引かない。ちょっと見分けのつかない上・普二品ある品物は、普を買っても上品でレジる。今日も、まちがうだろうと気をつけていると、思ったとおり。もっとも年に一度ぐ

らいは、こつちがとくをすることもあるが。デザートは食料品部ではレジ係のボスらしい女にしてみよう。まちがいがあつた時は話が早い。ずいぶんケチな話。いや職人のような見せかけは現代的ではない。東郷大将だって新婚時代家庭へ配達された米を自分で研で計り直したそうです。日露戦争の話まだにぎやかな頃、横須賀で育った私が聞いた話です。

なぜ子供がくつ下をはくのですか

東京都練馬区 野村瑞枝

母親としての直感なのだけど、子供が一日中、靴下をはいているの、どうも私はひっかかる。なんか、よくないんじゃないか、という気がしてならない。

毎日、公園に子供をつれてゆくんだけど、はだしでとびまわっているのはいつもうちの子だけ。みんな、くつ下をはいて靴もしっかりはいている。

足がふやけちゃわないだろうか。水虫にならないだろうか、なんて心配もあるけれど、もっと深いところで、何か不自然な気がするのだ。誰か、靴下をはく意味をおしえて下さい。私は今だに子供に靴下をなぜはかせなきゃいけないのか、どうしてもわからないのです。

私自身、よほど寒い時以外、くつ下をはくと足のうらがモコモコして気持ち悪く、素足です。

次号投稿募集

●一六一号の特集テーマは、セックス・ライフについてです。(題未定)

一五七号の「簡素で楽しい結婚式」には、旅行―同棲―結婚式―婚姻届の順で、結婚する話が出てきました。

編集部が早川と和田が取材に行ったのですが、兩人とも世の移り変わりを痛感したものです。

何を痛感したのか、おわかりにならない若い読者もあると思うので、念のため昔の順序を書きますと、結婚式―婚姻届―旅行―同棲です。

式と届がすまない間に、旅行したり同棲したりするのは、人に知られればスキヤンダルで、やるとすればコソコソやったのです。

それが堂々と語られるようになった……女の貞操なんて言葉は死語となり、セックスについての価値観は、刻一刻変動しつつあります。

巷に溢れる雑誌には、きわどいセックス記事が満載され、翔ぶの翔はないの、フリーセックス、スワッピング等々、われわれのセックス・ライフはまったく自由化されているような印象を与えます。

はたして女の性は自由になったのだろうか？
しばしば新聞の紙面をにぎわす中・高校生の売

春事件など、フリーセックスの風潮のあらわれのように書き立てられますが、太古、女の性が自由であったころには売春はなく、その後男権時代に入って現われてくる歴史を見れば、現在の自由なるものに、疑いを抱かずにはいられません。

妊娠中絶の件数が異常に多いことや、娘に性教育を施しかね、「きつともう、友達から聞いて知っているでしょうよ」などと逃げている母親たちが少なからぬところを見れば、主体的に避妊をする能力がなくて夫まかせ、性について深く考えたこともない、あまりにも消極的な、フリーセックスどころか情性セックスの女たちが存在するように思われます。

今回は、一般に言われているフリーセックスについてあなたがどんな考えかたを持っているか、あなたにとってセックスとはどんな意味を持っているのか等、価値観変動時代の性を考えるご投稿をお待ちしています。さらに、男女を問わず子ども性の教育について、現在の困惑、将来の不安、またはしごくうまくやっているご体験などをお寄せ下さい。締切十月二十日。

●育児QアンドA(千字前後) 今回二つのQが寄せられました。それについてのAをお寄せ下さい。Qも並行して掲載して行きますのでご投稿をお待ちしています。

投稿規定

予約購読者はどなたでも投稿できます。投稿は原則としてすべて掲載します。

●たていとよこいと

見たこと、聞いたこと、感じたこと、何でも自由に。(千二百字まで)

●特集テーマ原稿

テーマはそのつど、投稿募集欄でお知らせします。(千二百字まで)

●おしゃべり

おたよりその他。(五百字まで)

●持ち込み原稿

評論、問題提起、ルポ、文芸など。長さ自由。ただし掲載は編集部で協議の上、決定します。

●投稿締切

毎号、偶数月の二十日。

●誌上匿名は可。ただし投稿に住所氏名は明記してください。

編集だより

★サークルづくりのおすすめ

前号に柏・横浜のサークルだよりが寄せられましたが、「わいふ」はもともと、家庭に閉じこめられた主婦たちの連帯を求めて創刊された雑誌です。

編集部としては、各地に多くのサークルが生まれることを希望し期待しております。二、三人の「わいふ」仲間が集まり、お茶を飲んでおしゃべりをするところから、気軽にお始めになってみて下さい。きっと一人で家の中で考えていたときより、自分についても、家庭についても、社会についても新しい見方が生まれると思います。

集まりを持たれたら、そのおたよりをぜひお寄せ下さい。お待ちしております。

★頁数がふえたせいとか、最近「わいふ」を書店で引き受けてくれるところが大変ふえてきました。主婦層の出入りの多い地域がとくによいようです。お近くにそうした本屋さんがあったら交渉してみても下さいませんか。お気持のある方は、持ちこみの条件などお知らせいたしますので、編集部にご一報下さい。頁数がふえた分だけ火の車の会計に値上げを——という内部の声もありますが、ぜひこのままで頑張りたいので

す。そのためには部数を伸ばすほかありませんのでどうぞよろしくお願い致します。

★五月末読売新聞の「わいふ」の紹介記事で約五百名の新規申込みがあり、てんでこ舞いだった事務室の北村八重さんと金子昌子さん。

新規申込み中の一枚の振込用紙、振込人氏名住所欄になんといわいふ編集部の住所だけしか書いてない。バックナンバー註文と一年購読料しめて四千五百円也。幕張の消印だけをたよりに探し当てるのに二カ月経過。こんな思いがけぬ手違いもときどきありますので、わいふの届くのが遅かったり、一号ぬけたりしている場合には、どうぞどんどん積極的に編集部に声をかけて下さい。

★今号に初登場の古賀清子さんの「一人きりの旅立ち」の原稿を読み、急にソワソワしはじめた人が編集部にあります。そろそろ五十歳になるというのに、いつも金魚のウンチ旅、一人で旅をしたことがなかったそう。旅については各誌にいやというほど取上げられているのに、どうしてかちつとも旅立ちできなかった人のために、次号から、意外に知られていない旅のコツ、旅のハウツウを取り入れた楽しい旅のシリーズを企画したいと思っています。乞御期待。

■購読申込は……

ハガキか電話でどうぞ。

すぐ本に振替用紙をそえてお送りしますの
で、折返しご送金ください。バックナンバー
のご注文も同様に。二冊以上まとまりま
すと送料が半額以下になります。

わいふ

160号

1979年9月25日発行

編集・わいふ編集部

印刷・浩文社印刷

定価 350円

(年間購読料送料共2520円)

発行所・わいふ編集部

東京都新宿区加賀町2-4☎162

T E L (03) 260-4771・269-2388

振替口座 東京5-110430

銀行口座三菱銀行神楽坂支店

普通預金 052-4315635

(隔月刊)

■購読中止は……

かならずお申出ください。送金をお忘れになる方が多いので、誌代が切れてもひき続き送本しています。お申出がないと、お送りしてしまうので、ぜひハガキか電話を。

高校生文化研究会

東京都千代田区猿樂町2-1-8
電話 03(295)3415 振替 東京6-18956



愛と性の十字路

高校生文化研究会編著 定価850円

愛の幻想と性への好奇の谷間をゆれ動く高校生たちの姿を追う、その重く生なましい体験の一つひとつをかいぐりつつ、現代青年にとつての愛と性の〈条件〉をさぐる。

●愛読者カードから

●高校生のありのままの実態が出ていて、ドキッとする面もあったが、読んだあと何だか爽やかな気持ちになった。

(高校生・TY君)

●高校生向けに性の問題を正面から、しかも教科書的・道徳的ではなく、彼らのナマの現実に即応してとらえた本を待望していた。数々の手記を通して考察し、帰納的に一つの結論へたどりついているのは、たいへん魅力がある。(高校教師・ITさん)

●私たち教師が陥りやすい生徒への迎合を拒否し、かといって管理主義的に処理するのでもなく、きびしくその生き方を追求することが大事だと考えさせられる本でした。よくぞ、こういう書物を出版してくださいました。(高校教師・YKさん)

話題の宝庫  よみブック

コンパクト判 / 500円 税160円

離婚は本当に不幸なものだろうか？

離婚は怖くない

「国際婦人年をきっかけとして行動を起す女性たちの会 離婚問題分科会」 俵 萌子 編

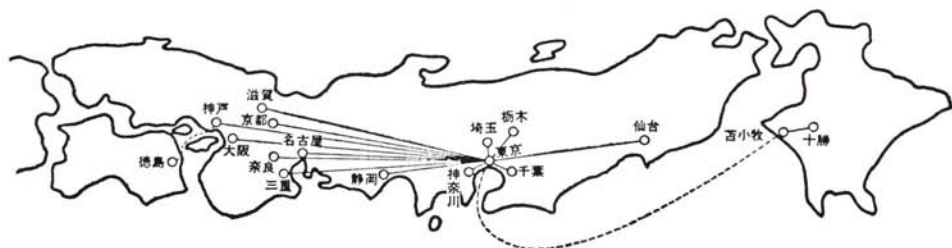
結婚は祝福されるが、離婚は祝福されない。離婚は失敗という古い図式を打ち破りたい。不幸な結婚生活を送るよりは離婚して出直した方が幸福なのだ。従来の「離婚」に伴う古い考え方を全面的に改め、真の男女平等をめざすために：

読売新聞社



北海道の 自然を飲みましょう

生産者と消費者とが手を結んだ
共同購入の産直牛乳!



成分無調整



よつ葉牛乳

乳脂肪 **3.4%**以上

とにかく飲みくらべて下さい
おいしい水……すんだ空気……
青々した大自然の牧場……
このような素晴らしい 好条件のもとで
育かれた 新鮮な うまい牛乳です。

■「共同購入」のご相談をどうぞ!

お問合せは



月館牧場(株)

東京都足立区六木1丁目17番6号
TEL (03) 606-5551~2